

令和3年度 研究者一覧

(50音順)

近畿大学工業高等専門学校



あらが こういち

荒賀 浩一

Koichi ARAGA

職名
学位

教授

博士(工学)

大阪市立大学 大学院工学研
究科後期博士課程機械工学
専攻修了

学歴・
職歴等

大阪市立大学客員研究員(教
授)
(令和2年4月～)

専門分野	流体力学
主要担当授業科目	本科:流体力学(4, 5年), 工学実験, 創造製作実習, 卒業研究 専攻科: 応用流体力学, 流体力学特論
資格・受賞等	・日本実験力学会論文賞受賞(平成25年) ・日本機械学会畠山賞受賞(平成7年) ・高等学校教諭専修免許状(工業) ・博士(工学)(大阪市立大学大学院) ・乙種危険物取扱者第1, 2, 3, 4, 5, 6類 ・初級システムアドミニストレータ
社会・学会活動	日本機械学会, 日本実験力学会, 日本混相流学会, なばり自然エネルギー推進協議会 小水力部会委員
研究シーズ 研究テーマ	1. 抵抗低減流に関する研究 ・界面活性剤添加による管内抵抗低減流れのメカニズムの解明 ・抵抗低減流れにおける伝熱促進技術の開発 ・マイクロバブルによる抵抗低減技術の確立 2. 流れの可視化技術 3. 競技用ソーラーカーの設計製作および流体解析 4. その他, 熱・流体現象に関する研究
共同研究・技術相談・ 技術開発等の実績	
E-Mail	araga@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【主な著書】

- 1) 脇本・植田・中嶋・荒賀・井口・加藤, 水力学(ドリルと演習シリーズ), 電気書院, 2015
- 2) 植田・加藤・中嶋・脇本・荒賀・井口, 流体力学(ドリルと演習シリーズ), 電気書院, 2019

【主な論文】

- 17) Wakimoto, T., Araga, K., Katoh, K., Simultaneous determination of micellar structure and drag reduction in a surfactant solution flow using the fluorescence probe method, Physics of Fluids 30, 033103 (2018).
- 16) 村田, 荒賀, 小松, 鉄粉酸化反応層の熱特性に関する研究, 日本機械学会論文集, Vol.82, No.844, 2016.
- 15) 荒賀, 森本, 脇本, 加藤, 荒賀・森本・脇本・加藤, 抵抗低減界面活性剤水溶液流れの流動伝熱特性に及ぼすマイクロバブル混入の影響, 実験力学, Vol.15, No.2, pp. 116~123, 2015.
- 14) 荒賀, 小見山, 脇本, 加藤, 界面活性剤水溶液の垂直上昇円管内流れに及ぼす微細気泡の影響, 実験力学, Vol.12, No.3, pp. 243~249, 2012.
- 13) 村田, 荒賀, 江藤, 竹原, 冷媒HCFC123の細管内強制対流沸騰の可視化 一核沸騰開始点近傍における二相流動様式の形成一, 日本実験力学会誌, Vol.12, No.2, pp.107~113, 2011.
- 12) Murata, K., Araga, K., Etoh, T. and Takehara, K., Visualization of Nucleate Boiling of Refrigerant HCFC123 in a Mini-Tube, Proceedings of the 15th International Conference on Experimental Mechanics, Porto, Portugal, 22-27 July 2012.
- 11) Araga, K. and Murata K., Forced Convective Boiling of Refrigerant HCFC123 in a Mini-Tube, Proc. 14th Int. Heat Transfer Conf., Washington D. C., 2010.
- 10) 荒賀, 松井, 脇本, 村田, 加藤, 界面活性剤水溶液の水平円管内流れに及ぼす微細気泡の影響, 実験力学, Vol.10, No.3, pp. 304~311, 2010.
- 9) 村田・岡本・荒賀, 冷媒HCFC123の細管内強制対流沸騰, 実験力学, Vol.9, No.4, pp.351~356, 2009.
- 8) 荒賀・糸川・中溝・村田, 抵抗低減界面活性剤水溶液流れに及ぼす空気混入の影響, 実験力学 Vol.9, No.4, pp.357~362, 2009.
- 7) Koichi ARAGA and Keiji MURATA, Pressure Loss, Heat Transfer Coefficient and Flow Pattern in Drag-Reducing Two-Phase Flow of Air and Surfactant Solution Inside a Vertical Tube, Proceedings of The Second International Symposium on advanced fluid/solid science technology in experimental mechanics, 12, 2007.
- 6) Murata, K. and Araga, K., Heat Transfer Characteristics in Two-Phase Flow of Air And Surfactant Solution, Proc. 13th Int. Heat Transfer Conf., Sydney, 11, 2006.
- 5) 村田・荒賀, 空気混入による界面活性剤水溶液流れの熱伝達促進, 日本機械学会論文集, 72-717(B), pp1303-1309, 2006.
- 4) 荒賀・東, 管内流れの乱流遷移に及ぼす界面活性剤添加の影響, 日本機械学会論文集, 72-717(B), pp1137-1145, 2006.



いわさ ひでひこ

岩佐英彦

Hidehiko Iwasa

職名
学位

准教授
修士(工学)

大阪大学大学院工学研究科
通信工学専攻博士前期課程
修了
同博士後期課程中途退学

学歴・
職歴等

奈良先端科学技術大学院大
学情報科学センター助手
同大学情報科学研究科助手
スキャネット株式会社取締役
株式会社ロックヒルズ代表取
締役

専門分野	情報工学
主要担当授業科目	本科:プログラミング言語I、プログラミング言語II、通信工学、工学実験実習4、ソフトウェア工学
資格・受賞等	奈良県主催:ビジコン奈良2016 ベンチャー部門賞
社会・学会活動	情報処理学会、高専学会
研究シーズ 研究テーマ	仮想現実感(VR)と複合現実感(AR)技術を活用した聴覚障害者のための情報提示手法に関する研究 IoT技術を活用したセンシングデータの収集と活用に関する研究 プログラミング学習支援環境構築のための学習者の行動履歴の計測に関する研究 子ども向けプログラミング教育のための教材開発に関する研究
共同研究・技術相談・開発等の実績	1.スキャネット株式会社において、スキャナで読み取れるマークシート、ならびにタブレットを用いた記述答案のデジタル採点システムの開発に従事
E-Mail	iwasa@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【著書】

(1) 岩佐英彦、宿久洋:授業評価・市場調査のための「アンケート」調査・分析ができる本、平成21年9月 秀和システム

【査読付論文】

- (11) H. Iwasa, N. Aihara, N. Yokoya, and H. Takemura, 4 Memory-based self-localization using omnidirectional images, 平成15年3月, Systems and Computers in Japan, Vol. 34, No. 5, pp. 56-68
- (10) 佐藤 哲, 岩佐 英彦, 竹村 治雄, 横矢 直和, 5 高速シンプレクティック・レイトレーシング: 入れ子宇宙の可視化, 平成13年10月 情報処理学会論文誌, Vol. 42, No. 10, pp. 2392-2492
- (9) 佐藤 哲, 岩佐 英彦, 竹村 治雄, 横矢 直和: シンプレクティック・レイトレーシング: ブラックホール時空での光線追跡, 平成13年3月, 情報処理学会論文誌, Vol. 42, No. 3, pp. 456-464
- (8) 岩佐 英彦, 粟飯原 述宏, 横矢 直和, 竹村 治雄: 全方位画像を用いた記憶に基づく位置推定, 平成13年2月, 電子情報通信学会論文誌(D-II), Vol. J84-D-II, No. 2, pp. 310-320
- (7) K. Kiyokawa, H. Takemura, Y. Katayama, H. Iwasa, and N. Yokoya, VLEGO: A simple two-handed 3-D modeler in a virtual environment, 平成10年11月, Electronics and Communications in Japan, Part 3: Fundamental Electronic Science, Vol. 81, No. 11, pp. 18-28
- (6) 大隈 隆史, 竹村 治雄, 片山 喜章, 岩佐 英彦, 横矢 直和, Spiral Tree: 順序付き階層構造の三次元視覚化手法, 平成10年2月 電子情報通信学会論文誌(A), Vol. J81-A, No. 2, pp. 280-288
- (5) S. Araki, N. Yokoya, H. Iwasa, and H. Takemura, Splitting active contour models based on crossing detection for extracting multiple objects, 平成9年9月, Systems and Computers in Japan, Vol. 28, No. 11, pp. 18-28
- (4) 清川 清, 竹村 治雄, 片山 喜章, 岩佐 英彦, 横矢 直和, 両手操作を用いた仮想物体モデラVLEGO, 平成9年9月, 電子情報通信学会論文誌(A), Vol. J80-A, No. 9, pp. 1517-1526
- (3) 清川 清, 竹村 治雄, 岩佐 英彦, 横矢 直和, 複数仮想物体の協調接合操作における一操作補助手法, 平成9年7月 映像情報メディア学会誌, Vol. 51, No. 7, pp. 1079-1085
- (2) 荒木 昭一, 横矢 直和, 岩佐 英彦, 竹村 治雄, 複数物体の抽出を目的とした交差判定により分裂する動的輪郭モデル, 平成8年10月, 電子情報通信学会論文誌(D-II), Vol. J79-D-II, No. 10, pp. 1704-1711
- (1) 岩佐 英彦, 内田 泰宏, 馬場 口登, 北橋 忠宏, 帰納学習における例外検出による決定木のコンパクト化, 平成7年8月 情報処理学会論文誌, Vol. 36, No. 8, pp. 1778-1788

【紀要】

- (5) 岩佐 英彦, 本田 康子, 小野 野子, BASIC言語とドローンを用いた初学者向けプログラミング教育の実践, 近畿大学工業高等専門学校紀要14号, 2020
- (4) 岩佐 英彦, 宮崎 勢三, 深層学習を用いたチェックマーク式アンケートの自動認識に関する位置検討, 近畿大学工業高等専門学校紀要13号, 2019
- (3) 岩佐 英彦, オブジェクト指向プログラミング教育のためのProcessingを用いた教材開発, 近畿大学工業高等専門学校研究紀要第12号, 2018.
- (2) 岩佐 英彦, 学生募集につなげるプログラミング教育実施のための授業の特色を活かした体験型セミナーの検討, 近畿大学工業高等専門学校紀要12号, 2018.



うえだ とおる

上田 透

Toru Ueda

職名
学位

准教授
修士(文学)

学歴・
職歴等

関西大学 大学院文学研究科
英文学専攻博士課程前期修了
近畿大学附属高校非常勤講師
高野山大学非常勤講師

専門分野	中世及び近世英文学
主要担当授業科目	本科:英語
資格・受賞等	・高等学校教諭2級普通免許状 ・中学校教諭1級普通免許状
社会・学会活動	日本英文学会 日本シェイクスピア協会
研究シーズ 研究テーマ	シェイクスピア及びエリザベス朝演劇
共同研究・技術相談・開発等の実績	
E-Mail	ueda@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) Julius Caesar試論ー現実を支配する力についてー
- (2) Othelloにおける感情と理性の相克について
- (3) The Winter's Taleにおける虚構と真実



おの あきこ

小野 朗子

Akiko Ono

職名
学位

講師
博士(理学)

津田塾大学学芸学部数学科卒業
奈良女子大学大学院理学研究科
情報科学科修了
奈良女子大学大学院人間文化研
究科複合領域科学専攻博士後期
課程修了

学歴・
職歴等

国立大学法人 千葉大学 環境リ
モートセンシング研究センター 講
師(研究機関研究員) 他

専門分野	植生リモートセンシング
主要担当授業科目	情報処理 II, 工学概論 I, 情報数学, 通信工学, 数値計算法, 制御工学, 電気電子工学実験
資格・受賞等	教員免許(中学数学一種, 高等学校数学一種) 教員免許(中学数学専修, 高等学校数学専修) 小型移動式クレーン免許
社会・学会活動	日本リモートセンシング学会 日本写真測量学会
研究シーズ 研究テーマ	1. 人工衛星データを用いた植生解析 ・ 樹冠構造・形状把握のためのアルゴリズム開発・ 検証 ・ 植生の乾湿状態を把握するためのアルゴリズム開 発・検証 2. 植生踏査, タワーやラジオコントロールヘリコプター を用いた地上計測 3. 人工衛星データを用いた陸域と大気との相互作用に 関する研究 4. 人工衛星で観測された CH ₄ データの検証
共同研究・技術相 談・開発等の実績	JAXA 地球環境変動観測ミッション GCOM 第2回研 究公募 PI (主任研究者) 温室効果ガス観測技術衛星 GOSAT CI (共同研究 者) 地球圏総合診断委員会 陸域新規ミッション分科会 委員
E-Mail	ono@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【著書】

- (1) 宇宙航空研究開発機構(小野朗子ほか), 2007: 地球の今 SOS THE VOICE OF THE EARTH ~地球の悲鳴がきこえる~, 宇宙航空研究開発機構
宇宙利用推進本部, ISSN 1349-113X.
(2) 堀雅裕, 村上浩, 菊池信行, 小野朗子, 細田皇太郎, 山本浩万, 山梨正人, 2006: Global Imager がとらえた地球 気候変動の解明に向けて, 宇宙航空
研究開発機構 地球観測研究センター, ISBN4-906653-03-0.

【投稿論文(査読あり)】

- (1) X. -C. Qin, T. Nakayama, Y. Matsumi, M. Kawasaki, A. Ono, S. Hayashida, R. Imasu, L. -P. Lei, I. Murata, T. Kuroki, M. Ohashi, 2018: Ground-based
measurement of column-averaged mixing ratios of methane and carbon dioxide in the Sichuan Basin of China by a desktop optical spectrum analyzer,
Journal of Applied Remote Sensing, Vol. 12 (1), 012002 doi: 10.1117/1.JRS.12.012002.
(2) S. Hayashida, S. Kayaba, M. Deushi, K. Yamaji, A. Ono, M. Kajino, T. T. Sekiyama, T. Maki, X. Liu, 2018: Study on lower tropospheric ozone over
central and eastern China: Comparison of satellite observation with model simulation, Springer Remote Sensing/Photogrammetry book series, Land-
Atmospheric Research Applications in South and Southeast Asia, Chapter 13, pp. 255-275.
(3) A. Ono, S. Hayashida, T. Sugita, T. Machida, 2015: Comparison of GOSAT SWIR and Aircraft Measurements of XCH₄ over West Siberia, SOLA, Vol.
11, pp. 160-164, doi:10.2151/sola.2015-036.
(4) S. Hayashida, X. Liu, A. Ono, K. Yang, K. Chance, 2015: Observation of lower tropospheric ozone enhancement over East Asia, Atmospheric
Chemistry and Physics, Vol. 15, pp. 9865-9881, doi: 10.5194/acp-15-9865-2015.
(5) 小野朗子, 林田佐智子, 小野厚夫, 2015: デジタルカメラを用いた落葉針葉樹カラマツ林の植生解析, 写真測量とリモートセンシング, Vol. 54 (1), pp.
20-31, ISSN: 0285-5844. (他21件)

【投稿論文(査読なし)】

- (1) A. Ono, W. Takeuchi, S. Hayashida, 2015: Estimation of forest canopy height using MODIS shadow index (SI), Proceedings of the 36th Asian
Conference on Remote Sensing (ACRS), the Crowne Plaza Manila Galleria, Metro Manila, Philippines, TU4.1.6. (他15件)

【学会発表】

- (1) S. Hayashida, A. Ono, 2016: Characterization of biomass burning using CH₄ and CO₂ data observed by GOSAT, 12th International Workshop on
Greenhouse Gas Measurements from Space (IWGGMS-12), Kyoto, Japan.
(2) S. Hayashida, A. Ono, 2016: Proportion of atmospheric methane to carbon dioxide observed by GOSAT over biomass burning regions in Africa,
Japan Geoscience Union Meeting 2016, Chiba, Japan, AAS01-P01.
(3) 小野朗子, 林田佐智子, 2016: カゲ指数を用いた樹高の見積もり, 第24回生研フォーラム「宇宙からの地球環境・災害のモニタリングとリスク評価」, 東
京大学生産技術研究所, B-7. (他85件)

	専門分野	多元計算解剖学
	主要担当授業科目	本科：プログラミング演習、ネットワーク工学、工学実験 専攻科：並列計算法、電気電子工学実習
	資格・受賞等	防災士
	社会・学会活動	日本医用画像工学会 国際シミュレーション&ゲーミング学会
かわかみ しんのすけ 川上 申之介 Shinnosuke KAWAKAMI	研究シーズ 研究テーマ	研究シーズ： Virtual Reality, 3D programming 現在の研究テーマ： 多元計算解剖学
職名 講師 学位 修士(工学)	共同研究・技術相談・開発等の実績	「股関節鏡視下手術における最適ポート推定システム」 2015.04~2018.03 (共同研究者: 奈良先端科学技術大学院 大学情報科学研究科生体医用画像研究室, 大阪府立急性 期総合医療センター 整形外科)
学歴・ 職歴等 大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 博士後期 課程単位取得満期退学 自然科学研究機構 国立天文 台 チリ観測所(三鷹)	E-Mail	kawakami@kctc.ac.jp

主な著書・論文・特許等(最近の講演発表を含む)

- (1) 川上申之介, 福田紀生, 西井 孝, 大竹義人, 佐藤嘉伸, "股関節鏡シミュレータにおける視認性に基づくポータル位置の評価: 15症例による検証", 第36回日本医用画像工学会大会 JAMIT2017
- (2) 川上申之介, 福田紀生, 西井 孝, 大竹義人, 佐藤嘉伸, "股関節スーチャーアンカーシミュレータにおける MA ポータルからのアンカー刺入角度および深さの安全性評価", 第26回日本コンピュータ外科学会, 2017
- (3) 杉本香菜子, 中里剛, 川崎渉, 川上申之介, 國吉雅也, 小杉城治, 廿日出文洋, 三浦理絵, 秋山永治, 新永浩子, 堤貴弘, ほかPIPELINE, CASA 開発チーム, "ALMAデータ解析パイプラインとデータ解析ソフトCASAの開発", 日本天文学会講演予稿集V127a 於:大阪大学, 春季年会 2015
- (4) 中里剛, 杉本香菜子, 川崎渉, 川上申之介, 國吉雅也, 中村光志, 小杉城治, 前川淳, "データ解析ライブラリSakuraの開発とALMA単一鏡データ解析への応用", 日本天文学会 講演予稿集V126a於:大阪大学 春季年会 2015
- (5) 中里剛, 杉本香菜子, 川崎渉, 川上申之介, 中村光志, 小杉城治, "高速データ解析ライブラリ Sakuraの開発とALMA データ解析への応用", 宇宙科学情報解析論文誌第4号 2015
- (6) H. Shinnaga, R. Miura, T. Nakazato, K. Sugimoto, G. Kosugi, S. Kawakami, ALMA PIPELINME Team, ALMA Pipeline - Current Status, 日本天文学会 講演予稿集 p253,V128a 於:山形大学 秋季年会, 2014
- (7) 中里剛, 小杉城治, 杉本香菜子, 川上申之介, ALMA単一鏡データ解析パイプラインの開発. 日本天文学会講演予稿集 p243,V112a 於:東北大学 秋季年会 2013
- (8) 三浦理絵, 新永浩子, 中里剛, 杉本香菜子, 川上申之介, 小杉城治, 立松健一ALMAパイプラインの概要とその開発状況. 日本天文学会, 講演予稿集, p243,V111a, 於:東北大学, 秋季年会 2013
- (9) 杉本香菜子, 中里剛, 川崎渉, 川上申之介, 中村光志, 小杉城治, 堤貴弘ほかCASA開発チーム一同. ALMAデータ解析ソフトウェアCASAの開発7. 日本天文学会 講演予稿集, p248,V143a, 於:大分大学, 秋季年会 2012
- (10) 川崎渉, 杉本香菜子, 中里剛, 川上申之介, 中村光志, 小杉城治, 堤貴弘ほかCASA開発チーム一同 ALMAデータ解析ソフトウェアCASAの開発6 日本天文学会 講演予稿集 p265,V72a 於:鹿児島大学 秋季年会 2011
- (11) S. Kawakami, "Science Rooms: Developing a New Digital Game to Learn Science" 39th International Simulation And Gaming Association Conference (ISAGA 2008), pp. 105-108, 2008.
- (12) S. Tasaki, T. Ebisawa, S. Kawakami, R. Maruyama, K. Sakai, T. Oku, D. Yamazaki, K. Soyama, M. Hino, T. Kawai, Neutron spin flip chopper with very high S/N ratio for pulsed source, Physica B CONDENSED MATTER. pp263-265, 335, 2003
- (13) S. Tasaki, T. Ebisawa, M. Hino, T. Kawai, D. Yamazaki, N. Achiwa, R. Maruyama, S. Kawakami, Physica B CONDENSED MATTER.



かんだ たけし

神田 毅

Takeshi KANDA

職名
学位

准教授
博士(工学)

学歴・
職歴等

東京大学工学部計数工学科卒
東京大学大学院工学系研究科計
数工学専攻修士課程修了
東京大学大学院工学系研究科計
数工学専攻博士課程修了

(株)富士総合研究所入社
<社名変更>みずほ情報総研(株)

専門分野	計算幾何学
主要担当授業科目	数学
資格・受賞等	実用数学技能検定1級、 情報処理技術者 (応用・データベース・エンベデッドシステム)、 工業英語能力検定1級、 TOEIC 945点
社会・学会活動	日本応用数理学会 正会員、 形の科学会 会員、日本工学教育協会 会員、 日本技術士会 準会員、 日本アクチュアリー会 研究会員、 日本高専学会正会員、日本気象予報士会会員
研究シーズ 研究テーマ	1. ロバスト幾何計算 2. ポロノイ図の応用 3. 分子計算ソフトウェアの開発
共同研究・技術相 談・開発等の実績	なし
E-Mail	kanda@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【発表論文】

- (1) Takeshi Kanda, Kokichi Sugihara: Two-Dimensional Range Search Based on the Voronoi Diagram, International Journal of Computational Geometry & Applications, Vol. 15, Number 2, pp. 151-166, 2005.
- (2) 神田 毅, 杉原 厚吉, 森本 康彦: 幾何アルゴリズム加速のための混合演算に関する研究, 日本応用数理学会論文誌, Vol. 14, No. 2, pp. 117-150, 2004.
- (3) 神田 毅, 杉原 厚吉: 分割図形のポロノイ図らしさを測る簡便で合理性のある方法の提案, 形の科学会誌, 第17巻, 第3号, pp. 167-178, 2002.
- (4) Takeshi Kanda, Kokichi Sugihara: Comparison of Various Trees for Nearest-Point Search with/without the Voronoi Diagram, Information Processing Letters, Vol. 84, pp. 17-22, 2002.

【国際学会】

- (1) Takeshi Kanda, Kokichi Sugihara: Two-Dimensional Range Search Based on the Voronoi Diagram, Computational Science and Its Applications - ICCSA 2003, Part III, pp. 776-786, Montreal, Canada, May 18-22, 2003.
- (2) Takeshi Kanda, Kokichi Sugihara: Scale of Likeness to the Voronoi Diagram, ISM Symposium, Statistics and Discrete Geometry, Application to Crystallography and Chemistry, p. 10, The Institute of Statistical Mathematics, Tokyo, Japan, March 25-26, 2002.
- (3) Takeshi Kanda, Kokichi Sugihara: Hybrid Arithmetic for Acceleration of Geometric Algorithms — Suitable Error Estimation for Each of Sign Decisions —, Proceedings of the 6th Korea-Japan Joint Workshop on Algorithms and Computation, pp. 37-44, Pusan National University, Pusan, Korea, June 28-29, 2001 .
- (4) Takeshi Kanda: Improvement on a Voronoi Fitting Method and Some Considerations, Proceedings of the 2000 International Conference on Parallel and Distributed Processing Techniques and Applications, Vol. II, pp. 675-681, Las Vegas, Nevada, USA, June 26-29, 2000 .



きおか けいたろう

木岡 桂太郎

Keitaro KIOKA

職名
学位

講師
博士(工学)

学歴・
職歴等

2012.4.1-2014.3.31 日本学術
振興会特別研究員
2013.3.31 長岡技術科学大学
大学院博士後期課程エネ
ルギー・環境工学専攻修了
2013.4.1-9.30 長岡技術科学
大学博士研究員
2013.10.1-2014.3.31 フリードリ
ヒ=シラー大学博士研究員
2014.4.1-2021.3.31 コーニング
ジャパン株式会社

専門分野	材料工学(無機材料、金属材料)
主要担当授業科目	金属材料学、材料力学、工業力学、CAD、工学実験、創造製作実習、卒業研究
資格・受賞等	日本セラミックス協会年会講演賞(2009) 日本化学会関東支部会講演賞(2009) International GIGAKU conference presentation award (2013) 博士(工学)(2013、長岡技術科学大学) 長岡技術科学大学学長賞(2013)
社会・学会活動	日本セラミックス協会 応用物理学会
研究シーズ 研究テーマ	情報科学を利用した材料開発
共同研究・技術相 談・開発等の実績	なし
E-Mail	kioka@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

著書
なし

論文

- (1) K. Kioka, T. Honma, T. Ishibashi, T. Komatsu
Laser patterning and magnetic properties of perovskite-type $\text{La}_{0.7}\text{Sr}_{0.3}\text{MnO}_3$ crystals on the glass surface. Solid state communications, Volume 149 (2009), 1795-1798.
- (2) K. Kioka, T. Honma, T. Komatsu
Formation and laser patterning of perovskite-type KNbO_3 crystals in aluminoborate glasses. Optical materials, Volume 33 (2011), 267-274.
- (3) K. Kioka, T. Honma, T. Komatsu
Fabrication of $(\text{K},\text{Na})\text{NbO}_3$ glass ceramics and crystal line patterning on glass surface. Optical materials, Volume 33 (2011), 1203-1209.
- (4) K. Kioka, T. Honma, K. oh-ishi, S. Reibstein, N. Da, L. Wondraczek, T. Komatsu
Effect of Al_2O_3 addition on the formation of perovskite-type NaNbO_3 nanocrystals in silicate-based glasses. Journal of non-crystalline solids, Volume 358 (2012) 1523-1529.

特許
なし



くがい かつや

久貝 克弥

Katsuya Kugai

職名
学位

教授
博士(工学)

埼玉大学 大学院 理工学研究
科 博士課程修了 情報数理
科学専攻

学歴・
職歴等

株式会社ダイヘンにてアーク
溶接ロボットの開発に従事。特
にロボットアームのサーボ制
御や、知能化にかかわるセン
サ制御開発を担当。

専門分野	制御工学、メカトロニクス、ロボット工学
主要担当授業科目	本科: 制御工学、制御工学演習、工学実験5、卒業研究、創造製作実習 専攻科: 知能システム、システム制御工学、機械工学実験、機械工学演習、特別研究
資格・受賞等	工業英検2級 マイクロコンピュータ応用システム開発技術者初級 溶接協会注目発明賞授賞, 1994 電気工業会奨励賞, 1995 IECON' 95(IEEE) Best Paper Award授賞 溶接協会技術賞授賞, 1997
社会・学会活動	日本機械学会(商議員)、溶接学会、エアロ・アクアバイオメカニズム学会、日本高専学会、関西工学教育協会、名張市産学官共同研究委員会(副委員長)
研究シーズ 研究テーマ	1. メカトロニクス応用技術の開発 ・クロマグロの遊泳能力解析とロボットへの応用 ・アルミインゴット製造の安定化 2. センサを用いたロボットの知能化研究 ・アーク溶接ロボットの知能化 3. サーボ制御, モーション制御技術 ・ロボットアームの残留振動を低減した最短時間制御
共同研究・技術相談・開発等の実績	1. 「高菜アーク取りのための自動揉み機開発」熊野市、飛鳥たかな生産組合と共同研究、2008～2012年度 2. 「アルミインゴット製造の安定化」浪速軽金属工業所と共同研究、2012年度～ 3. 「マグロロボット用防水スーツの開発」株式会社アイエムピーと共同研究、2013年度～ 4. 「アーク溶接電源の制御に関する研究」株式会社ダイヘンとの共同研究、2015～
E-Mail	kugai@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【著書】

- 1)久貝: アークセンサによる溶接品質管理, 検査技術誌2015年11月号Vol.20, No.11, p.6-13, 2015
- 2)久貝, 恵良(ダイヘン), 宮坂(大阪大): アーク溶接プロセスとシステム化, 溶接学会誌Vol.84 No.5, p.58-61, 2015
- 3)K.Kugai, H.Yamamoto, E.Murakami: Dynamic Analysis of Arc-length and its Application to Arc-sensing, Welding Guide Book "SENSORS AND CONTROL SYSTEMS IN ARC WELDING", Technical Commission on Welding Process / Japan Welding Society 全271頁, 担当部分p II 85-90, 1991

【論文】

- 1)K.Kugai, I.Yamamoto, Y.Matsumoto, M.Takahashi: Development of Fish type Robot based on the Analysis of Swimming Motion of Bluefin Tuna -Experimental Discussion-, Journal of Aero Aqua Bio-mechanisms, 2019 Volume 8 Issue 1
- 2)久貝, 山川, 中村: アークセンサの信頼性に関する再考 -不安定要因の影響と誤検出の回避方法, 溶接学会論文集第36巻第1号, p1-8, 2018
- 3)K.Kugai, S.Nakamura: Reconsideration over the Reliability of Arc Sensor, International Journal of Mechanical Engineering and Automation, 2017
- 4)久貝: Development of Fish type Robot based on the Analysis of Swimming Motion of Bluefin Tuna - Comparison between Tuna-type Fin and Rectangular Fin, 近畿大学工業高等専門学校研究紀要第10号, 2017
- 5)久貝, 三輪: クロマグロの遊泳能力解析に基づく魚ロボットの開発, 近畿大学工業高等専門学校研究紀要第9号, 2016
- 6)久貝, 中村: アークセンサの信頼性に関する再考 -アークおよび溶融地の影響について, 溶接学会論文集 第33巻 第4号 p.309-316, 2015
- 7)久貝(埼玉大): ニューラルネットワークを用いたアーク溶接ロボットにおけるセンシングと制御, 埼玉大学博士論文, 1997

【特許】

- 1) 特許公開2006-277531 産業用ロボットシステム
- 2) 特許公開2006-099166 溶接ロボットの制御装置
- 3) 特許公開2001-162373 消耗電極ガスシールドアーク溶接のアーク長制御方法及び溶接電源装置
- 4) 特許公開2001-162371 トーチ姿勢制御方法及び装置及びアーク溶接用ロボット
- 5) 特許公開2000-158136 チップ・被溶接物間距離算出方法及び溶接線倣い制御方法及び装置
- 6) 特許公開平10-011127 アーク溶接用ロボットのオフライン教示方法
- 7) 特許公開平02-052171 溶接線倣い制御方法
- 8) 特許公開昭63-201705 マニピュレータの防振制御装置



くわた ひでや

鍛田 英也

Kuwata Hideya

職名
学位

講師
博士(理学)

大阪市立大学理学部数学科卒業

大阪市立大学大学院理学研究科
数物系専攻前期博士課程修了

学歴・
職歴等

大阪市立大学大学院理学研究科
数物系専攻後期博士課程単位取
得退学

平成30年12月 博士(理学)
大阪市立大学 (論文博士)

専門分野	トリークトポロジー
主要担当授業科目	微積分学I, II, 線形代数、応用数学、解析学I, II
資格・受賞等	中学校教諭専修免許状(数学) 高等学校教諭専修免許状(数学)
社会・学会活動	日本数学会
研究シーズ 研究テーマ	トラス作用をもつ多様体の幾何とそれに関連する 組合せ論
共同研究・技術相 談・開発等の実績	
E-Mail	kuwata@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

(1) Sho Hasui, Hideya Kuwata, Mikiya Masuda, and Seonjeong Park, Classification of toric manifolds over an n -cube with one vertex cut, International Mathematics Research Notices, rny161, <https://doi.org/10.1093/imrn/rny161>, Published: 05 July 2018(Online Published). arXiv:1705.07530 (査読あり)

(2) Hideya Kuwata, Mikiya Masuda and Haozhi Zeng, Torsion in the cohomology of torus orbifolds, Chinese Annals of Mathematics Series B (2017) 38 (6) 1247 – 1268, <https://doi.org/10.1007/s11401-017-1034-4> .arXiv:1604.03138 (査読あり).

MISC

(1) Geometry of Peterson Schubert calculus in type A and left-right diagrams , Hiraku Abe, Tatsuya Horiguchi, Hideya Kuwata, Haozhi Zeng, arXiv:2104.02914 2021年4月7日



こやま ゆきのぶ

小山 幸伸

Koyama Yukinobu

職名
学位

准教授
博士(理学)

学歴・
職歴等

奈良高専電気工学科卒業
熊本大学工学部電気情報工学科
卒業
奈良先端科学技術大学院大学物
質創成科学研究科博士前期およ
び後期課程修了(博士(理学))

専門分野	超高層物理学, 情報地球惑星科学
主要担当授業科目	電気回路Ⅰ, 電気回路Ⅱ, 数値計算法, 工学実験3, 卒業研究, データ処理, コンピュータ概論
資格・受賞等	第二種電気工事士、第二級アマチュア無線技士 小型車両系建設機械(整地等3t未満)、運転ローラーの運転の業務、高所作業車(2~10M未満)運転の業務 ITパスポート試験合格、セキュリティマネジメント試験合格、基本情報技術者試験合格
社会・学会活動	地球電磁気・地球惑星圏学会(データ問題検討分科会世話役) 日本地球惑星科学連合
研究シーズ 研究テーマ	1. デジタルオブジェクト識別子, メタデータなどを用いた学術情報基盤の構築. 2. Linked Open Data等のテクノロジーを活用した市民・社会課題の解決. 3. デジタル地球儀Dagik Earthのためのマルチタッチパネルの開発.
共同研究・技術相談・開発等の実績	デジタル地球儀のための低価格球面マルチタッチパネルの研究(京都大学理学研究科、いけだエコスタッフ)
E-Mail	koyama@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) 小山 幸伸, 廣田 尚樹, 増田 花乃, Pipatpol Tanavongchinda, 佐藤 弘, 背面投影型デジタル地球儀Dagik Earthのための半球面マルチタッチパネルの開発, 宇宙航空研究開発機構研究開発報告, doi:10.20637/JAXA-RR-18-008/0003, 2019.
- (2) 小山 幸伸, 佐藤 由佳, 中野 慎也, 八木 学, 田中 良昌, 阿部 修司, 能勢 正仁, 蔵川 圭, 池田 大輔, 梅村 宜生, 新堀 淳樹, 上野 悟, JavaFX-based iUgonet Data Analysis Software (JudasFX)のプロトタイプ開発, <https://repository.exst.jaxa.jp/dspace/handle/a-is/561524>, 2016.
- (3) Atsuki Shinbori, Yukinobu Koyama, Masahito Nosé, Tomoaki Hori, Yuichi Otsuka, Characteristics of Seasonal Variation and Solar Activity Dependence of the Geomagnetic Solar Quiet Daily Variation, <https://doi.org/10.1002/2017JA024342>, 2017.
- (4) Toshihiko Iyemori, Kunihiro Nakanishi, Tadashi Aoyama, Yoshihiro Yokoyama, Yukinobu Koyama, Hermann Lühr, Confirmation of existence of the small-scale field-aligned currents in middle and low latitudes and an estimate of time scale of their temporal variation, <https://doi.org/10.1002/2014GL062555>, 2014.
- (5) Yukinobu Koyama, Atsuki Shinbori, Yoshimasa Tanaka, Tomoaki Hori, Masahito Nosé, Satoshi Oimatsu, An Interactive Data Language software package to calculate ionospheric conductivity by using numerical models, <https://doi.org/10.1016/j.cpc.2014.08.011>, 2014.
- (6) Atsuki Shinbori, Yukinobu Koyama, Masahito Nose, Tomoaki Hori, Yuichi Otsuka and Akiyo Yatagai, Long-term variation in the upper atmosphere as seen in the geomagnetic solar quiet daily variation, <https://doi.org/10.1186/s40623-014-0155-1>, 2014.



こんどう えみ

近藤 恵美

EMI KONDO

職名
学位

教授
博士(工学)

学歴・
職歴等

名古屋工業大学大学院
都市循環システム工学専攻
博士後期課程修了

有明工業高等専門学校
創造工学科・准教授

専門分野	建築環境工学
主要担当授業科目	建築設備, 環境工学
資格・受賞等	2020年度人間—生活環境系学会論文賞
社会・学会活動	日本建築学会 日本生気象学会 人間—生活環境系学会 バイオクリマ研究会 こども環境学会
研究シーズ 研究テーマ	・行動性体温調節を考慮した温熱環境評価に関する研究 ・乳幼児の温熱環境に関する研究 ・単発的住環境学習プログラムに関する研究
共同研究・技術相談・開発等の実績	
E-Mail	kondo@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- 1) Y. Kurazumi, K. Fukagawa, T. Sakoi, A. Naito, R. Hashimoto, E. Kondo, T. Tsuchikawa: Clothing Area Factor for Typical Seasonal Clothing of Infant, Health, 13, 378-392, 2021
- 2) Y. Kurazumi, E. Kondo, K. Fukagawa: The Influence of Environmental Stimuli upon the Human Body in Summer, Health, 12, 781-803, 2020
- 3) 土川忠浩, 近藤恵美, 藏澄美仁: ベビーカーに乗車する乳幼児の日射投射面積率に関する研究, 人間と生活環境, 26(2), 87-92, 2019
- 4) Y. Kurazumi, E. Kondo, K. Fukagawa, Y. Yamato, K. Tobita, T. Tsuchikawa: Effects of Outdoor Thermal Environment upon the Human Responses, Engineering, 11, 475-503, 2019
- 5) Y. Kurazumi, K. Fukagawa, T. Sakoi, A. Aruninta, E. Kondo, K. Yamashita: Skin Temperature and Body Surface Section in Non-Uniform and Asymmetric Outdoor Thermal Environment, Health, 10(10), 1321-1341, 2018
- 6) K. Fukagawa, Y. Kurazumi, Y. Yamato, K. Tobita, E. Kondo, R. Hashimoto, Y. Ohgi: A Study on the effect of visual stimuli on human thermal sensation? Targeting Water Landscape-, Ecology, Environment and Conservation journal, 23(S), S31-S36, 2017
- 7) Y. Kurazumi, J. Ishii, K. Fukagawa, E. Kondo, A. Nyilas, A. Aruninta: Seasonal differences of psychological and physiological responses in tropical urban climate, Health, 9(6), 896-920, 2017
- 8) Y. Kurazumi, E. Kondo, K. Fukagawa, Reiko Hashimoto, Agnes Nyilas, Tomonori Sakoi, Tadahiro Tsuchikawa: The influence of foliage plants on psychological and physiological responses, Health, 9(4), 601-621, 2017
- 9) Y. Kurazumi, E. Kondo, K. Fukagawa, R. Hashimoto, Y. Yamato, K. Tobita, T. Sakoi, T. Tsuchikawa, T. Horikoshi: Availability of Heat Conduction for Environmental Control Method to Improving Thermal Environment and Preventing Oversensitivity to Cold and Air-Conditioning Disease on Female Office Workers, Health, 8(6), 583-604, 2016
- 10) Y. Kurazumi, J. Ishii, K. Fukagawa, E. Kondo, A. Aruninta: Ethnic Differences in Thermal Responses between Thai and Japanese Females in Tropical Urban Climate, American Journal of Climate Change, 5(1), 52-68, 2016



このりきお

今野 理喜男

Rikio Konno

職名 教授
学位 博士(理学)

学歴・職歴等
東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程単位取得退学
神奈川県工業試験所技師、筑波大学文部技官、(株)クロステック社員

専門分野	物性理論
主要担当授業科目	本科: 物理, 応用物理 専攻科: 解析力学, 材料物理, 統計力学
資格・受賞等	・国連英検B級 ・2009年 The International Plato Award for the Educational Achievement ・2009年 The Order of International Fellowship Golden Peace Prize ・2009年 Ultimate Achiever Award for Science-Certificate 工業英検2級, TEP Test 2級
社会・学会活動	日本物理学会会員, アメリカ物理学会終身会員, アメリカ物理教育学会会員, IEEE会員, IEEEコンピュータ学会会員, IEEE磁性学会会員, IEEE通信学会会員, 日本希土類学会会員, IET会員, イギリス物理学会会員
研究シーズ 研究テーマ	遷移金属, 重い電子系, 高温超伝導体, 有機導体の磁性と超伝導の研究, 磁性超伝導体の体積効果と圧力効果, セリウム化合物の熱膨張, ウラン化合物の熱膨張
共同研究・技術相談・開発等の実績	兵庫県立大学
E-Mail	r-konno@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) Rikio Konno, Nobukuni Hatayama, Yoshinori Takahashi, 'Theory of the magnetic susceptibility including zero-point spin fluctuations of itinerant nearly ferromagnetic compounds', to be published in Physica B.
- (2) Rikio Konno, Nobukuni Hatayama, Yoshinori Takahashi, 'Theory of Thermal Expansion Based on the Localized Paramagnon Model', to be published in Progress in Nuclear Science and Technology 5, (2018).
- (3) Rikio Konno, Nobukuni Hatayama, Ranjan Chaudhury, 'The pressure coefficient of the superconducting order parameter at the ground state in ferromagnetic superconductors', J. Low Temperature Physics 175 (2014), 508.
- (4) Rikio Konno and Nobukuni Hatayama, 'Pressure Effects on the Superconducting Transition Temperature of Ferromagnetic Superconductors', the Proceedings of OPAP 2013, 16.
- (5) Rikio Konno and Nobukuni Hatayama, 'Volume effects and pressure effects on ferromagnetic superconductors', J. Phys. Conf. Ser. 344 (2012), 012016.
- (6) Rikio Konno and Nobukuni Hatayama: 'The reexamination of thermal expansion of ferromagnetic superconductors and the pressure differential of its superconducting transition temperature-possible application to UGe₂', J. Phys. Conf. Ser. 286(2011), 012010.
- (7) Rikio Konno, 'The self-consistent renormalization theory of spin fluctuations for itinerant antiferromagnetism in quasi-one dimensional metals', the Proc.23th Int. Conf.on Low Temperature Physics, Hiroshima, 2002, Physica B329-333(2003), 1288.
- (8) Rikio Konno, 'THE DYNAMICAL SUSCEPTIBILITY BASED ON THE HUBBARD MODEL OF THE BODY CENTERED TETRAGONAL LATTICE', Physica B312-313(2002), 511. (The Proceedings of the International Conference on Strongly Correlated Electron Systems 2001).
- (9) Rikio Konno: 'The self-consistent renormalization theory of antiferromagnetic spin fluctuations based on the Anderson lattice model', Physica B284-288(2000), 1207. (The Proceedings of the 22nd International Conference on Low Temperature Physics).
- (10) Rikio Konno: 'The dynamical susceptibility based on the Hubbard model of the hexagonal close-packed lattice', J. Physics and Chemistry of Solids 60(1999), 1169. (The Proceedings of the ISSP7).
- (11) Rikio Konno: 'The self-consistent renormalization theory of longitudinal spin fluctuations for weak antiferromagnetic metals with degenerate bands', CZECHOSLOVAK J.Phys.46S(1996), 1841.(The Proceedings of the 21st International Conference on Low Temperature Physics, 1996).
- (12) Rikio Konno: 'THE SELF-CONSISTENT RENORMALIZATION THEORY OF SPIN FLUCTUATIONS FOR THE ONE-DIMENSIONAL METALS', Synthetic Metals 70(1995), 1013. (The Proceedings of the International Conference on Science and Technology of Superconductivity, 1995).

 <p>さいとう あきら 齊藤 彰 Akira SAITO</p> <p>職 名 学 位 准教授 学士</p> <p>学歴・ 職歴等 中京大学体育学部体育学科 光の村養護学校土佐自然学 園</p>	専門分野	スポーツ心理学
	主要担当授業科目	保健体育
	資格・受賞等	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状 日本体育協会 公認コーチ 公認審判委員1級 (財)三重県体育協会特別優秀監督賞
	社会・学会活動	近畿地区高専ソフトテニス専門委員長 三重県高体連ソフトテニス部副専門委員長
	研究シーズ 研究テーマ	ソフトテニスにおける心理の分析について
	共同研究・技術相 談・開発等の実績	
E-Mail	saitoh@ktc.ac.jp	

主な著書・論文・特許等

『保健体育概論(増補版)』近畿地区高専体育研究会共著



さいとう きみひろ

齊藤 公博

Kimihiro Saito

職名 教授
学位 博士(工学)

東京大学 工学部 計数工学
科卒業

博士(工学)取得(東京大学乙
第16125号)

学歴・
職歴等

ソニー株式会社 主幹研究員
Univ. of Arizona, Optical
Sciences Center 客員研究員

専門分野	通信工学、光デバイス
主要担当授業科目	技術と倫理、卒業研究、信頼性工学、電子回路特論、技術英語購読、故障物理学、電気電子工学実験、特別研究
資格・受賞等	ISOM(International Symposium on Optical Memory) Best Paper Award Sony MVP 2003
社会・学会活動	日本応用物理学会 会員 日本光学会 会員 米国OSA(Optical Society of America)会員 Opt.Rev.特集号 責任編集委員 ISOM学会 プログラム副委員長 ODS(in SPIE) プログラム委員
研究シーズ 研究テーマ	1. 高密度光ディスク記録再生方式の研究 2. 伝送系信号処理および画像処理シミュレーション技術 3. 電磁場解析技術(FDTD、波動工学を用いた解析技術) 4. 光学設計技術
共同研究・技術相談・開発等の実績	1. ソニー(株)において、光磁気ディスク(MD等)、ニアフィールド検出を用いた光ディスク、ビット型ホログラム記録、その他Blu-ray discを含む次世代高密度光ディスクの研究開発に従事。
E-Mail	ksaitoh@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【著書】

- (1) 光学技術の事典、朝倉書店、黒田和男 他 監修、103章「光ディスク」
- (2) 光学技術者のための電磁場解析入門、オプトロニクス社、小舘香椎子 編、第7章「光記録分野における電磁場解析」

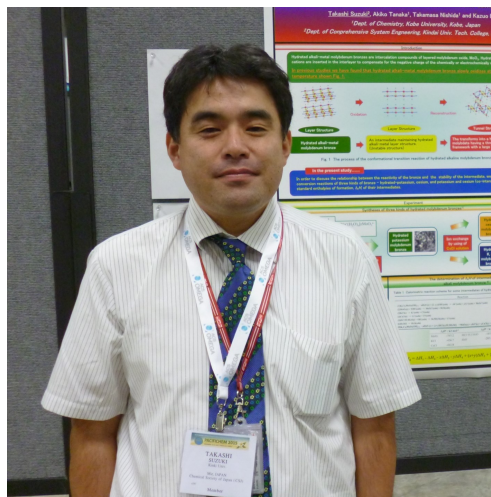
【原著論文(筆頭)】

- (1) Derivation of conventional formula of the third-order aberration for off-axial optical system 2019年6月 Opt. Rev., 26, pp406-410 (共著者)K. Saito
- (2) Signal processing methods in telecommunication field applied to optical disc systems 2018年8月 Jpn. J. Appl. Phys.,57,pp09SD02-1-5 (共著者)K. Saito
- (3) Analysis of Near-Field Readout Characteristics Using Approximate Vector Diffraction Calculation 2005年5月 Jpn. J. Appl. Phys., 44 ,pp. 3534-3536 (共著者) K. Saito, M. Shinoda, M. Furuki, A. Nakaoki and S. Kobayashi
- (4) Readout Method for Read Only Memory Signal and Air Gap Control Signal in a Near Field Optical Disc System 2002年3月 Jpn. J. Appl. Phys, 41 ,pp.1898-1902 (共著者) K. Saito, T. Ishimoto, T. Kondo, A. Nakaoki, S. Masuhara, M. Furuki and M. Yamamoto
- (5) Readout signals calculated for near-field optical pickups with land and groove recording 2000年8月 Appl. Opt., 39, pp. 4153-4159 (共著者)K. Saito, K. Kishima, and I. Ichimura

【学会発表等】

- (1) Optical disc writing strategy for analog signal recording 2019年10月 Technical Digest of ISOM'19, Niigata, Japan, Mo-C-01, (共著者) K. Saito
- (2) Analog recording technologies available to optical disc systems 2019年8月 Proc. SPIE, 11125, pp1112505-1-5, (共著者) K. Saito
- (3) Derivation of Conventional Formula of the Third Order Aberration for Off-axial Optical System 2018年11月 Technical Digest of ODF'18, Hiroshima, 28PSa-02 (共著者) K.Saito
- (4) Proposal of mutiphase partial response method for optical disc readout systems 2018年10月 Proc. SPIE, 10757, pp1075705-1-7 (共著者) K. Saito
- (5) 単一符号化像を用いた奥行き検出の検討 2018年9月 第79回応用物理学会秋季学術講演会、20p-431B-4 (共著者) H. Saito and K. Saito

その他



すずき たかし
鈴木 隆
Takashi SUZUKI

職名 教授
 学位 博士(理学)

神戸大学大学院自然科学研究科物質科学専攻物質分化
 博士後期課程修了

学歴・職歴等
 帝塚山大学短期大学部非常勤講師, 甲南大学理学部非常勤講師, 学校法人報徳学園非常勤講師, 神戸大学大学院教育研究センター非常勤講師

専門分野	物性物理化学
主要担当授業科目	本科:化学
資格・受賞等	危険物取扱者免許(甲種) 修習技術者(応用理学部門) 防災士
社会・学会活動	日本化学会, 日本熱測定学会, 日本技術士会, 日本高専学会
研究シーズ 研究テーマ	1.「水和セシウムブロンズの熱力学的研究」 セシウムイオン挿入時においてプロトン挿入が標準生成エンタルピーに及ぼす影響を調べ, 水和ナトリウムモリブデンブロンズ, 水素ブロンズと比較検討することにより水素挿入による相の安定性を詳細に議論する。 2.「微量熱量計を用いたバイオコークスの熱的研究」 バイオコークスの安定貯蔵を目的として, 貯蔵雰囲気を変化させたときに発する熱的挙動を微量熱量計を用いて追跡し, 安定貯蔵に関する知見を得ることを目的とする。
共同研究・技術相談・開発等の実績	2020.12~2021.3 (株)テクノ中部様からの技術相談
E-Mail	t_suzuki@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1)鈴木 隆, 中村俊介, 井田民男, 「安定貯蔵を目的とした微量熱量計を用いたバイオコークスの熱的研究および速度論的解析」, 実験力学 Vol.19, No.3 pp.182-187 (2019).
- (2) Ken Ohashi, Ken'ichi Sasauchi, Satoru Mizuno, Tamio Ida, Manabu Fuchihata and Takashi Suzuki, "Thermal Properties of Biocoke for Safety Storage", 9th i-PIPEC 2016 Kyoto, Japan (International Conference on: Combustion, Incineration /Pyrolysis, Emission and Climate change), (2016)
- (3) Takashi Suzuki, *Akiko Tanaka, *Takamasa Nishida, *Kazuo Eda, "Thermodynamic study of the oxide-framework conversion reaction of hydrated alkali-metal molybdenum bronze at room temperature", CALCON 2016 (An Organization dedicated to the study of Thermodynamics in Chemistry, Biology, Physics, and Engineering), Abstract p.88 (2016)
- (4) Takashi Suzuki, Hitoshi Togashi, Takayoshi Kimura, "EFFECT OF THE BACILLUS SUBTILIS METABOLISM ON SEVERAL ENVIRONMENTS", Malaysia - Japan International Institute of Technology, Abstract 128-130 (2012).
- (5) Takashi Suzuki, Yoshiki Yoshihara and Takayoshi Kimura, "Excess Molar Heat Capacities of Aqueous Mixture of 1,4-Dioxane", *J. School Sci. Eng Kinki Univ.* 45, 9-14 (2009)
- (6) T. Suzuki, M. Masao, T. Kimura and S. Takagi, "Excess enthalpies of water + 1,4-dioxane at 278.15, 298.15, 318.15 and 338.15 K", *J. Therm. Anal. Cal.*, 85, 545-550 (2006)
- (7) Takashi Suzuki, Bungo Hatta, Kin Chin, Kazuo Eda, and Noriyuki Sotani, "Calorimetric study of hydrated sodium molybdenum bronze", *Thermochimica Acta*, 406, 171-176 (2003).
- (8) Kin Chin, Kazuo Eda, Takashi Suzuki, and Noriyuki Sotani: "Hydrothermal Synthesis and Calorimetric Study of Blue Molybdenum Bronze, K_{0.28}MoO₃", *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, 76, 557-560 (2003)
- (9) K. Eda, S. Fukiharuru, T. Suzuki, and N. Sotani: "Room Temperature Solid-State Reaction involving Structural Transformation of Covalent Oxide Network," *Journal of Solid State Chemistry*, 164, 157 (2002).
- (10) N. Sotani, T. Manago, T. Suzuki, and K. Eda, "Direct Synthesis of Hydrogen Coinserted Hydrated Sodium and Potassium Molybdenum Bronzes. Their Characterization and Selective Preparation of Purple, Blue and Red Molybdenum Bronzes", *J. Solid State Chem.*, 159, 87 (2001).
- (11) N. Sotani, T. Suzuki, K. Nakamura, K. Eda, and S. Hasegawa, "Change in bulk and surface structure of mixed MoO₃ - ZnO oxide by heat treatment in air and in hydrogen", *J. Materials Science*, 36, 703 (2001).
- (12) T. Suzuki, K. Eda, and N. Sotani, "Calorimetric Study of Hydrated Potassium Molybdenum Bronze", *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, 73, 2305 (2000).
- (13) T. Suzuki, T. Miyazaki, K. Eda, N. Sotani, and P. G. Dickens, "Calorimetric study of alkali-metal decamolybdates", *J. Mater. Chem.*, 9, 529-531 (1999).
- (14) N. Sotani, I. Shimada, T. Suzuki, K. Eda, and M. Kunitomo, "Proton insertion compound with tunnel structure", *J. Solid State Ionics*, 113-115, 377-385 (1998).
- (15) N. Sotani, T. Suzuki, K. Eda, M. Yanagi-ishi, S. Takagi, and F. Hatayama, "Preparation of Hydrated Potassium Molybdenum Bronzes and Their Thermal Decomposition" *J. Solid State Chem.* 132, 330 (1997)



たうち しょうた

田内 翔太

Shota TAUCHI

職名
学位

講師
学士(スポーツ健康科学)

〈学歴〉
順天堂大学スポーツ健康科学部
スポーツ科学科卒業

学歴・
職歴等

〈職歴〉
近畿大学附属高等学校
保健体育科非常勤講師
近畿大学附属新宮高等学校
保健体育科常勤講師
近畿大学附属新宮高等学校
保健体育科教諭

専門分野	スポーツコーチング学
主要担当授業科目	保健体育科
資格・受賞等	中学校教諭一種免許状(保健体育) 高等学校教諭一種免許状(保健体育) 日本サッカー協会公認C級コーチ
社会・学会活動	
研究シーズ 研究テーマ	サッカーにおける育成年代のコーチング
共同研究・技術相 談・開発等の実績	
E-Mail	tauchi@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等



たかはた ときこ

高畑 時子

Tokiko TAKAHATA

職名 准教授
学位 Ph.D(外国語文献学)

学歴・
職歴等

日本学術振興会特別研究員
DC2/PD, 京都大学大学院文学研究科言語学専攻修士課程修了、
同博士課程単位取得退学、
Rotary財団国際親善奨学生、
Hessen州政府博士課程奨学生、
Marburg大学大学院外国語文献学Ph.D, 日本学術振興会特別研究員RPD

専門分野	英語弁論術・修辞学
主要担当授業科目	2021年度担当 本科:英語3、英語4、TOEICプラス、外国文献購読 専攻科:総合英語
資格・受賞等	TOEIC L&R 960, Advanced Certificate in TESOL, Goethe-Zertifikat C1, Goethe-Prüferzertifikat 他
社会・学会活動	全国高等専門学校英語教育学会(COCET)主催全国 高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト近畿 地区大会実行委員、同全国大会実行委員(2017- 2018年度)、JACET(大学英語教育学会)、日本英語 表現学会、日本英文学会会員等
研究シーズ 研究テーマ	英語弁論におけるレトリック解析 弁論術理論の伝統と現代社会における実践法 英語教育でのアクティブ・ラーニング実践
共同研究・技術相 談・開発等の実績	
E-Mail	takahata@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【論文】

- (1) TAKAHATA Tokiko, "Theoretical Analysis of "Disposition" (*Dispositio*) in Former Prime Minister Junichiro Koizumi's Speech on "In Response to the Dissolution of the House of Representatives", in 『近畿大学工業高等専門学校研究紀要』14号, 2021.3, pp.109-116.
- (2) TAKAHATA Tokiko, "Ways to Use TOEIC® Listening & Reading Preparation to Improve Practical English Communication Skills", in: *The Council of College English Teachers (COCET) : Research Reports*, 2020.3, pp.175-184.
- (3) TAKAHATA Tokiko, "A Main Rhetorical Technique used in George Bush's Political Speech—Contrast of Moral Terms—", in 『近畿大学工業高等専門学校研究紀要』, 2020.3, pp.115-120.
- (4) Tokiko Takahata, Bedarf die Politik im Rom der Divination?—Untersuchungen zur Existenz der Gottheit in De divinatione Ciceros—, *Classical Studies* 21, 2008, pp.12-36.
- (5) Tokiko Takahata, *Das Bild des römischen Staates in Ciceros philosophischen Schriften*, Digitale Bibliothek der Universität Marburg, Diss. phil. Pp.243, 2004. (<https://archiv.ub.uni-marburg.de/diss/z2004/0622/>)
- (6) Tokiko Takahata, Politik-Philosophie-Rhetorik in cum dignitate otium Ciceros, *Classical Studies* 16, 2001, pp.85-108.
- (7) Tokiko Takahata, Ciceros Kritik an der epikureischen Iustitia-Lehre in De finibus und De re publica, *Classical Studies* 17, 2001, pp.85-108. (他11件)

【口頭発表】

- (1) 高畑時子、「英語コミュニケーション能力向上へのTOEIC対策活用法」、全国高等専門学校英語教育学会第43回研究大会、2019.8.30、於：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）。
 - (2) Tokiko TAKAHATA, A short comparison of the translation style of Aeneid II between Friedlich von Schiller and William Wordsworth—Regarding the thoughts about human destiny of the two poets—, 日本通訳翻訳学会(JAITS)第19回大会、関西大学、2018.9.
 - (3) Tokiko Takahata, Bildungssystem, Universitätsstudien und Studium der Klassischen Philologie in Japan, Vortrag an der Philipps-Universität Marburg, Stadt Marburg, 2004.
 - (4) 高畑時子、「図表を用いた多言語教育方法について—西欧諸国語の場合—」、外国語教育学会(JAFLE)、2012年、東京外国語大学。(他15件)
- 【翻訳、プロシーディング他】
- (1) 高畑時子、「ヒエロニムス著「翻訳の最高種について」(書簡57「パンマキウス宛の手紙」): Hieronymus, *Epistula 57, Ad Pammachium : De Optimo Genere Interpretandi*』、『近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編』、第6巻1号、2015, pp.153-171.
 - (2) 高畑時子、「キケロー著「弁論家の最高種について」(Cicero, *De optimo genere oratorum*) 解説と全訳および注釈』、『翻訳研究への招待 (日本通訳翻訳学会篇)』、第12巻、2014, pp.253-265.
 - (3) 高畑時子、「ワーズワス著「ウェルギリウス「アエネーイス」2巻訳」における翻訳法』、『日本英文学会第87回大会Proceedings』、2015, pp.231-232.
 - (4) 高畑時子、「大学における多言語教育の利点について：英語、ドイツ語、西洋古典語教育を例に」、『近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編』、第3巻1号、2012, pp.253-265. (他6件)

【著書】

- (1) 高畑時子、「2章、修辞学・弁論」、in: 『ラテン文学史』、ミネルヴァ書房、2015年(第2版)、京都、pp.91-109.
- (2) 共著：高畑時子(編集委員：酒井潔、鹿島徹、茂牧人、村井則夫、後藤正英、渡辺和典、川口茂雄)、「古典文献学」、「ドイツ古典主義」、「フォス」、in: 『ドイツ哲学・思想事典』、ミネルヴァ書房、東京、(in printing) 2021.6.



たぐち よしふみ

田口 善文

Yoshifumi TAGUCHI

職名
学位

教授
博士(工学)

九州大学工学部土木工学科
卒業
京都大学大学院工学研究科
土木工学専攻 博士後期課程
修了

学歴・
職歴等

(株)フジタ 技術研究所グ
ループリーダー
(株)建設技術研究所 マネジ
メント技術部副参事

専門分野

地盤工学、トンネル工学、土木施工法

主要担当授業科目

本科:地盤工学、施工管理学、建設工学実験
専攻科:土質工学特論、環境地盤工学特論

資格・受賞等

・技術士 総合技術監理部門(建設-土質及び基礎)
・技術士 建設部門(土質及び基礎)
・技術士 建設部門(施工計画、施工設備及び積算)
・1級土木施工管理技士
・甲種火薬類取扱保安責任者
・VEリーダー

社会・学会活動

・土木学会
・地盤工学会

研究シーズ
研究テーマ

1. 未固結地山のトンネル掘削における補助工法の
設計・施工法の研究
2. 山岳トンネル掘削時の挙動予測
3. 補強土工法に関する設計・施工法の研究
4. 公共事業における入札契約方式、制度設計

共同研究・技術相
談・開発等の実績

・都市NATMプレライニング(PASS工法)の開発(フジ
タ)
・埼玉県飯能市、静岡県沼津市技術顧問(建設技術
研究所)

E-Mail

taguchi@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【著書】

- (1) 田村武、朝倉俊弘、石村利明、小坂寛巳、小西真治、笹尾春夫、杉本光隆、高田正治、田口善文、田中康弘、永島茂、中村益美、松尾勉、松野徹、吉塚守、米山秀樹共著:プレライニング工法、土木学会トンネルライブラリー、平成12年6月
- (2) 藤波督、渡辺信次、佐々木徹、黒岩正夫、疋田喜彦、香川和夫、田口善文、波田光敬、井上修、鬼木剛一共著:疑問に答える土工事の施工ノウハウ、近代図書、平成9年5月

【論文】

- (1) Y.Taguchi, Effects of Cutting Face Bolts in the Unconsolidated Sandy Tunnel, Seventh International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment, Japan, pp.121-126, Nov.2017.
- (2) Y.Taguchi, Model Test on the Reinforcing Effect of the Face Bolts in the Unconsolidated Sandy Layer Tunnel, Proceedings of Sixth International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment, Bangkok, pp.111-116, Nov.2016.
- (3) Y.Taguchi, Model Test and Numerical Analysis on the Effect of the Length and Interval of the Face Bolt in Sandy Tunnel, Proceedings of Second International Conference on Science, Engineering & Environment, Osaka, pp.328-333, Nov.2016.
- (4) 田口善文、香川和夫、相良昌男、吉川和行、柔な薄肉プレライニングの先受け効果、土木学会論文集、No.645/Ⅲ-50、平成12年3月、pp.125-135
- (5) 田口善文、米山秀樹、笹尾春夫、香川和夫、相良昌男、プレライニングに作用する土圧に関する模型実験、土木学会論文集、No.631/Ⅲ-48、pp.151-160、平成11年9月
- (6) 米山秀樹、田口善文、笹尾春夫、指田健次、プレライニングの先受け・支保機構に関する模型実験、土木学会論文集、No.589/Ⅲ-42、pp.109-120、平成10年3月
- (7) 田口善文、相良昌男、波田光敬、香川和夫、プレライニングトンネルの補強効果に関する3次元模型実験、トンネル工学研究発表会論文・報告集、第4巻、pp.371-376、平成6年11月
- (8) 田口善文、波田光敬、香川和夫、逆T型プレライニングの補強効果に関する実物大実験、トンネル工学研究発表会論文・報告集、第3巻、pp.149-154、平成5年11月
- (9) Y.Taguchi, M.Hada, K.Kagawa, T.Hara, Soil Nailing Technique in Tunnel Support, 6th Conference on Shotcrete for Underground Support, pp.1-8, 1993.5

【学会発表】

- (1) 田口 善文、安松 敏雄、中須 誠、小野塚 和博、吉川 和行、発泡スチロールを敷設したカルバートの土圧軽減効果の追跡調査、土木学会年次学術講演会講演概要集第3部(B)、Vol: 53、pp.458-459、平成10年10月
- (2) 相良昌男、田口善文、平野訓相、水谷敏彦、橋詰哲治、高盛土下におけるEPSを敷設したカルバートの作用土圧について、第32回地盤工学研究発表会発表講演集、pp.2169-2170、平成9年7月

【特許】



たつかみ やすひさ

立神 靖久

Yasuhisa TATSUKAMI

職名 教授
学位 博士(工学)

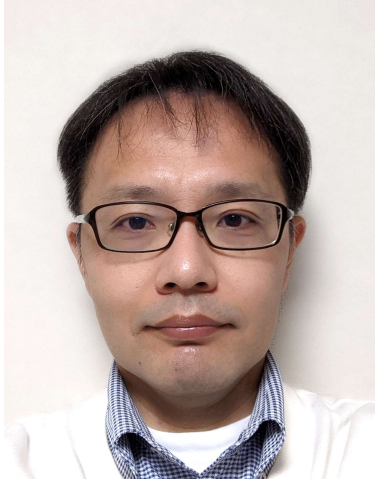
学歴
大阪市立大学大学院工学研究科後期博士課程都市系専攻修了

学歴・職歴等
職歴
東大阪市役所建築部建築指導室

専門分野	建築社会システム
主要担当授業科目	建築法規、構造力学Ⅰ、建設材料学、建築計画・デザイン
資格・受賞等	1級建築士 建築基準適合判定資格者
社会・学会活動	日本建築学会
研究シーズ 研究テーマ	空き家問題に関する研究
共同研究・技術相談・開発等の実績	
E-Mail	tatukami@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) 木造住宅の密集地域における空き家の実態と今後の課題に関する研究-東大阪市における空き家の実態調査から- 日本建築学会近畿支部研究報告集,第55号・計画系,pp.625-628,2015年6月
- (2) 木造住宅の密集地域における空き家の特性と地域住民の意識に関する調査研究 -東大阪市の小規模戸建て住宅地を事例として- 日本建築学会近畿支部研究報告集,第56号・計画系,pp.529-532,2016年6月
- (3) 地域住民から苦情の出た空き家に関する研究 日本建築学会住宅系研究報告会論文集12,pp.89-98,2017年12月
- (4) 全国自治体における空き家の相談窓口と相談体制に関する研究 -空き家問題に対する行政対応(その1)- 日本建築学会大会学術講演梗概集,pp.1297-1298,2018年9月
- (5) 全国自治体の空き家対策の取り組み状況に関する報告 日本建築学会技術報告集第25巻,第59号,pp.439-444,2019年2月
- (6) 高崎市・前橋市における総合的な空き家対策の実態と評価 -空き家問題に対する行政対応(その2)- 日本建築学会大会学術講演梗概集,pp.1165-1166,2019年9月
- (7) 空き家対策に係る鶴岡市・つるおか・ランドバンクの連携に関する研究 -空き家問題に対する行政対応(その3)- 日本建築学会大会学術講演梗概集,pp.1167-1168,2019年9月
- (8) 全国自治体における空き家対策の評価と質的対応の可能性 日本建築学会計画系論文集第85巻,第768号,pp.393-403,2020年2月
- (9) 宇都宮市における地域主体の空き家対策に関する研究 -空き家問題に対する行政対応(その4)- 日本建築学会大会学術講演梗概集,pp.21-22,2020年9月
- (10) 空き家の寄付事業の実態 長崎市を事例として -空き家問題に対する行政対応(その5)- 日本建築学会大会学術講演梗概集,pp.23-24,2020年9月
- (11) 空き家の寄付による公共空間整備の実態と評価 長崎市を対象として -空き家問題に対する行政対応(その6)- 日本建築学会大会学術講演梗概集,pp.25-26,2020年9月



たなか かずゆき

田中 和幸

Kazuyuki Tanaka

職名
学位

准教授
博士(工学)

学歴・
職歴等

東海大学大学院
総合理工学研究科
総合理工学専攻
博士課程修了

田中建築研究所
一級建築士事務所

専門分野	建築史、歴史的建造物の保存・修復
主要担当授業科目	建築史、造形デザイン演習、建築設計製図、工学実験・実習、卒業研究、土木工学演習
資格・受賞等	一級建築士 二級建築士 管理建築士 一級建築施工管理技士 学芸員 第一種高等学校教員免許(工業)
社会・学会活動	日本建築学会 日本生活学会 日本産業技術史学会 生活文化史学会 NPO法人 おだわら名工舎
研究シーズ 研究テーマ	1、歴史的建造物の保存・修復 2、近代建築史
共同研究・技術相談・開発等の実績	地方公共団体における歴史的建造物を活かした町づくり
E-Mail	tanaka@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) 田中和幸: 渋谷町水道の配水塔に関する研究, 技術と文明, 日本産業技術史学会, 第22巻, 第2号, pp.1-17, 2019.10
- (2) 安野彰, 大井隆弘, 須崎文代, 田中和幸, 水野僚子: 大正・昭和期の都市上中流住宅における水まわり空間の変容過程, 住総研研究論文集 43, pp.137-148, 2017
- (3) 田中和幸: 明治33年竣工の茨城県真壁高等学校の木造校舎について, 日本建築学会技術報告集, 日本建築学会, 第23巻, 第53号, pp.297-302, 2017.2
- (4) 田中和幸: 「荒玉水道」の当初設計図となる『荒玉水道図』について, 日本建築学会技術報告集, 日本建築学会, 第22巻, 第50号, pp.345- 350, 2016.2
- (5) 田中和幸: 小田原市の旧内野醤油店における明治36年竣工の店蔵について, 日本建築学会技術報告集, 日本建築学会, 第21巻, 第49号, pp.1279-1283, 2015.10
- (6) 田中和幸, 伊藤香織, 羽生修二: 小田原市板橋の内野邸実測調査報告, 小田原市郷土文化館, 小田原市郷土文化館調査研究報告, No.49, pp.9-31, 2013.3
- (7) 田中和幸, 羽生修二: 宮谷慶一氏に対する討論の回答, 日本建築学会計画系論文集, 日本建築学会, 第77巻, 第671号, pp.245-246, 2012.1
- (8) 田中和幸, 羽生修二: 近代RC造建築の保存修復に関する研究 その14 修復における区別について, 日本建築学会関東支部審査付き研究報告集6, 日本建築学会, pp.177-180, 2011.3
- (9) 田中和幸, 羽生修二: 入間市の歴史的建造物(2)旧黒須銀行本店倉庫調査報告, 入間市博物館, 入間市博物館紀要, 第9号, pp.23-36, 2011.3
- (10) 田中和幸, 羽生修二: 近代日本のRC 造建築における修復技術と理論に関する研究~ヴェニス憲章にみる構造補強の区別について~, 日本建築学会計画系論文集, 日本建築学会, 第76巻, 第660号, pp.495-502, 2011.2



なかにし こういち

中西 弘一

Kouichi Nakanishi

職名
学位

准教授
修士(工学)

学歴・
職歴等

近畿大学大学院工学研究科
博士前期課程電子工学専攻
修了・工学修士

専門分野	制御工学
主要担当授業科目	電気機器、発変電工学、高電圧工学、絶縁設計工学
資格・受賞等	
社会・学会活動	・電気学会、計測自動制御学会、日本高専学会 所属
研究シーズ 研究テーマ	システム同定、実高炉の定常状態モデルの選定と線形化、ソーラーカーへの電気二重層キャパシタの応用に関する研究
共同研究・技術相談・開発等の実績	平成25年度名張市産学官共同研究「蓄電池の充放電回路の基礎的検討」 平成26年度名張市産学官共同研究「蓄電池の充放電回路の基礎的検討」 平成28年度名張市民産学官共同研究「次世代蓄電池・発電デバイスの制御回路」に関する研究 平成29年度名張市民産学官共同研究「次世代蓄電池・発電デバイスの制御回路」に関する研究
E-Mail	nakanishi@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【論文】

- 平成17年度高専卒業研究発表会講演論文集, 市瀬, 松田, 中西, pp. 19-20, 電気二重層キャパシタによるソーラーカーの充放電効率の改善
- 平成15年度情報処理教育研究会講演論文集, 内田, 仲森, 中西, pp. 629-630, 近畿大学高専における情報倫理教育の現状
- 平成15年度高専教育講演論文集, 内田, 仲森, 中西, pp.133-134, 近畿大学高専における無償貸与ノートPCの故障原因についての調査
- 平成14年度高専教員研究研究会講演論文集, 内田, 仲森, 中西, 近畿大学高専におけるノートPC貸与による用法教育環境の構築と評価
- 平成12年度高専卒業研究発表会講演論文集 辻本, 中西, ソーラーカー用DCモーターのためのPWM装置の製作
- 平成11年度高専卒業研究発表会講演論文集 海堀, 松岡, 中西, インホイールモーター搭載ソーラーカーへの電気二重層コンデンサの応用
- 平成10年度高専卒業研究発表会講演論文集 齋, 柏木, 木村, 中西, ダイレクトドライブ動力伝達方式ソーラーカーにおける電気特性
- 平成8年 実高炉の定常状態モデルの選定と線形化 中西弘一 計測自動制御学会論文集Vol.32No.7.

【紀要】

- 令和2年 近畿大学工業高等専門学校研究紀要第13号, 中西, 仲森, 荒賀, LoRa無線無線モデム計測システムのソーラーカーへの応用
- 平成28年 近畿大学工業高等専門学校研究紀要第9号, 中西, 岸, 仲森, 荒賀, 電気二重層キャパシタのソーラーカーへの応用に関する研究
- 平成27年 近畿大学工業高等専門学校研究紀要第8号, 中西, 岸, 仲森, 荒賀, ソーラーカーのためのシミュレーションモデルについて(3)
- 平成26年 近畿大学工業高等専門学校研究紀要第7号23頁~26頁, 中西, 岸, 仲森, 荒賀, ソーラーカーのためのシミュレーションモデルについて(2)
- 平成23年 近畿大学工業高等専門学校研究紀要第4号37頁~39頁, 中西, 岸, 仲森, 荒賀, ソーラーカーのためのシミュレーションモデルについて
- 平成17年 紀要第21号63頁~65頁, 岸, 中西, 仲森, 荒賀, ソーラーカーへの電気二重層コンデンサの応用
- 平成12年 紀要第16号15頁~18頁, 中西, 丸山, 岸, 仲森, インホイールモーター搭載ソーラーカーへの電気二重層コンデンサの応用
- 平成9年 紀要第14号1頁~23頁, 中西弘一, 実高炉の定常状態モデルと生成速度量
- 平成7年 紀要第12号49頁~61頁, 中西弘一, 単酸化コークス・ストーブの定常状態モデルの選定と線形化



なかひら やすゆき

中平 恭之

Yasuyuki NAKAHIRA

職名
学位

准教授
博士(工学)

学歴・
職歴等

豊橋技術科学大学大学院工
学研究科建設工学専攻修了
博士(工学)豊橋技術科学大
学(論博第211号)

専門分野	交通計画学
主要担当授業科目	本科:交通工学、測量学、測量実習 専攻科:都市交通計画学特論、交通計画学特論
資格・受賞等	測量士
社会・学会活動	土木学会、日本都市計画学会、 日本地域学会、交通工学研究会 紀南地区地域交通会議 会長
研究シーズ 研究テーマ	道路交通情報提供下でのドライバーの経路選択行動 ・不確実性下でのドライバーの意思決定行動 ・情報の獲得によるドライバーの行動変化 過疎地域の公共交通に対する住民意識と利用促進 に関する研究 医療と交通に関する研究
共同研究・技術相 談・開発等の実績	「紀南地域におけるかかりつけ医及び介護に関連した 住民ニーズの分析」、紀南医師会、2016年11月
E-Mail	nakahira@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) 道路条件と身体能力を考慮したバス停勢圏の設定、中平恭之、松尾幸二郎、地域学研究、2016年
- (2) 中平恭之、住民意識からみた過疎地有償運送の課題に関する研究、第22回日本都市計画学会中部支部研究発表会論文・報告集、2011年10月
- (3) 中平恭之、地方部の交通課題に対する過疎地有償運送による取り組み事例、第21回日本都市計画学会中部支部研究発表会論文・報告集、2010年10月
- (4) 中平恭之、廣島康裕、吉田剛:過疎地域におけるバス交通に対する住民意識の基礎的分析、第20回日本都市計画学会中部支部研究発表会・論文集、pp.33-36、2009.
- (5) 下岡雄一、中平恭之、廣島康裕、大和良介:熊野市における公共交通に対する住民意識と利用促進に関する基礎的研究、平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集、pp.355-356、2008.
- (6) 中平恭之:紀南地域における住民アンケート調査による医療環境に関する基礎的分析、紀南医報No.8,pp.18-26、2008.
- (7) 中平恭之、廣島康裕、コブピーロン:ドライバーの知覚所要時間更新過程を考慮した情報提供下における交通量配分シミュレーション分析、土木計画学・論文集、No.24(3)、pp.525-536、2007.
- (8) 中平恭之、廣島康裕:経路特性と交通需要変動特性が交通情報提供下での交通量配分に及ぼす影響のシミュレーション分析、地域学研究、第36巻第4号、pp.815-838、2007.
- (9) 中平恭之、廣島康裕:交通需要の日間変動下での所要時間知覚形成を考慮した情報提供効果の分析、地域学研究、第35巻第4号、pp.803-817、2006.
- (10) Kov phyrum・Yasuhiro hirobata・Yasuyuki Nakahira、Travel Time Reliability Analysis in Mixed Traffic Network under Provision of Advanced Traveler Information System、Proc.of Infrastructure Planning and Management、No.32、2005.
- (11) Kov phyrum・Yasuhiro hirobata・Yasuyuki Nakahira、Modeling Uncertainty in Mixed Traffic Network、Journal of EASTS、Vol.6、pp.1410-1425、2005.
- (12) Yasuyuki Nakahira・Yasuhiro Hirobata、Analysis on Commuting Drivers' Stated Preference of Route Choice Behavior under the Travel Time Information、Pacific Regional Science Conference、Vol.19、CD-ROM、2005.
- (13) 中平恭之、廣島康裕:所要時間情報提供下における経路選択意識の分析、地域学研究、第34巻第1号、pp.411-427、2004.1
- (14) 中平恭之、廣島康裕:地方都市中心部における休日の駐車場選択行動の分析と駐車場案内システムの効果、地域



なかむら のぶひろ

中村 信広

Nobuhiro NAKAMURA

職名 准教授
学位 博士(工学)

学歴・職歴等 近畿大学 大学院工学研究科
機械工学専攻博士後期課程
修了

専門分野	加工学, 機械材料
主要担当授業科目	本科:加工プロセス学 I・II, 卒業研究 専攻科:生産加工学, 工業材料
資格・受賞等	・日本溶射協会 奨励賞 ・第一種放射線取扱主任者(合格)・第三種電気主任技術者 ・甲種ガス主任技術者・第一級陸上無線技術士 ・エネルギー管理士(合格)・気象予報士・測量士(合格) ・高圧ガス製造保安責任者(一冷・甲種機械) 他
社会・学会活動	・日本機械学会, 日本セラミックス協会 ・日本溶射協会, 廃棄物学会, 精密工学会 ・クレーン運転・フォークリフト技能講習学科講師
研究シーズ 研究テーマ	1. 溶射加工法を用いた酸化チタン光触媒の製作について 2. 那智黒石粉末利用法のFS検討
共同研究・技術相談・開発等の実績	1. 熊野市産官学共同研究(那智黒) 2. 高菜生産組合との共同研究(高菜)
E-Mail	nakamura_nobuhiro@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【論文】

- (1) 溶射加工法を用いた光触媒皮膜の製作プロセスとその特性について 平成18年3月 日本機械学会誌 C編72巻715号pp947
- (2) 窒化法と溶射加工法により製作した湿式光センサー用TiO₂電極の特性 平成13年3月 精密工学会誌 Vol67、No3、pp.413-417
- (3) 湿式光センサー用TiO₂電極製作プロセスの最適化 平成12年12月 日本セラミックス協会学術論文誌 Vol108、pp.1085-1088
- (4) 溶射・溶融法による湿式光センサーの開発に関する基礎的研究 平成12年4月 日本機械学会論文集 C編66巻644号 pp.1374-1374
- (5) Ti窒化物基材に製作したTiO₂溶射皮膜の電極特性 平成12年3月 日本溶射協会誌 37巻1号pp.6-10
- (6) 射加工法による湿式光センサーの開発に関する基礎的研究 平成7年3月 日本溶射協会誌 33巻4号pp.255-263

【学会発表】

- (1) 溶射加工法を用いた酸化チタン溶射皮膜の特性について 平成28年11月 日本機械学会第24回機械材料材料加工技術講演会
- (2) 那智黒石粉末利用法のFS検討 -溶射加工法を利用した場合- 平成28年11月 日本機械学会第24回機械材料材料加工技術講演会
- (3) 那智黒石粉末利用法のFS検討 -形状変化の影響について- 平成26年9月 日本機械学会年2015年度次大会
- (4) 那智黒石粉末利用法のFS検討-粉末粒径の影響について- 平成25年11月 日本機械学会第21回機械材料材料加工技術講演会
- (5) 溶射加工法を利用した光触媒に関する研究 平成24年8月 日本高専学会第18回年会講演会
- (6) 那智黒石粉末利用法のFS検討 平成22年9月6日 日本機械学会2011年次大会
- (7) 溶射加工法を用いた光触媒皮膜の最適製作プロセスとその特性について 平成21年11月 日本機械学会第17回機械材料材料加工技術講演会
- (8) 溶射加工法を用いた光触媒皮膜の最適製作プロセスとその特性について 平成19年11月 日本機械学会第15回機械材料材料加工技術講演会
- (9) 那智黒石粉末利用法のFS検討 平成16年11月 日本機械学会第12回機械材料材料加工技術講演会
- (10) 那智黒石粉末利用法のFS検討 平成15年10月 日本機械学会第11回機械材料材料加工技術講演会
- (11) フレーム溶射加工法を用いた光触媒用TiO₂皮膜の製作 平成14年11月 日本溶射協会第76回全国講演大会
- (12) 溶射火災中のガス分析に関する研究 平成9年10月 日本溶射協会第68回全国講演大会
- (13) 湿式光センサーの製作とその特性に関する研究(第3報) 平成8年10月 日本溶射協会第66回全国講演大会
- (14) 湿式光センサーの製作とその特性に関する研究(第2報) 平成7年10月 日本溶射協会第64回全国講演大会
- (15) 湿式光センサーの製作とその特性に関する研究 平成7年8月 精密工学会関西地方学術講演論会



なかもり まさや

仲森 昌也

Masaya Nakamori

職名
学位

准教授
修士(工学)

学歴・
職歴等

近畿大学大学院工学研究科
博士前期課程電子工学専攻
修士・工学修士

専門分野	電子工学
主要担当授業科目	電子回路、工学実験など
資格・受賞等	電気工事士、工事担任者資格(アナログ第2種)、 高校(工業科)教職単位取得
社会・学会活動	・[所属学会]…電子情報通信学会、応用物理学会、 日本高専学会など ・[社会活動]…ボランティアグループ good job 担当 [〃]…名張市市民公益活動促進委員会委員 (H24.04/01～H25.03/31)
研究シーズ 研究テーマ	・機能性薄膜の作製と電子デバイス応用 ・電子計測制御関係の応用テーマ(センサネットワーク、 ロボット制御、IoT、M2M等)
共同研究・技術相 談・開発等の実績	・[相談・開発]…名張市・名張市内の工業団地から の依頼でセンサネットワークを活用した獣害対策 (2018冬～) ・[相談・開発]…名張市からの依頼で防災用ラジオ の拡張(緊急放送時に自動で電源が入り、大型アン プ・スピーカで放送するシステム)
E-Mail	nakamori@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【特許】

・発行:日本国特許庁 特許 出願番号 平10-43782 公開番号 平11-243234 (本津、仲森、田畑、藤巻、石井、川合) 超伝導素子、及びその製造方法
・発行:日本国特許庁 特許 出願番号 平11-206646 公開番号 2001-36155 (本津、西川、石井、仲森、田畑、藤巻、川合) 電磁波素子

【論文 (主なもの)】

- (1) Characteristics of a humidity sensor using a Na-doped hydroxyapatite thin film 共著 (Memories of the Faculty of Biology-Oriented Science and Technology of Kinki University 26号(87頁～91頁)) 本津 茂樹、仲森 昌也、西川 博昭、楠 正暢 [2010.08]
- (2) Preparation of directly stacked YBa₂Cu₃O_{7-d}/oxide magnetic material thin films on Al₂O₃(0001) substrate共著平成14年1月西川博昭, 本津茂樹, 酒谷知孝, 寺籠正史, 峯成伸, 仲森昌也, 田畑仁, 川合知二
- (3) Characteristics of mechanically tunable superconductive resonators.共著平成14年1月本津茂樹, 西川博昭, 仲森昌也, et.al
- (4) Superconducting magnetostatic wave devices using HTS/ perovskite-type manganite PCMO heterostructure.共著平成13年12月本津茂樹, 西川博昭, 仲森昌也, 田畑仁, 川合知二, 寺籠正史, et.al.
- (5) Mechanically Tunable High-Temperature Superconducting Microwave Filter with Large Shift of Resonant Frequency.共著平成13年11月本津茂樹, 西川博昭, 藤巻朗, 仲森昌也, 酒谷知孝, 川合知二, et.al.
- (6)Preparation of Superconducting Magnetostatic Wave (MSW) Devices Consisting of High-Tc Superconducting (HTS) / Perovskite-type Manganite Heterostructures: Application of Pr_{0.85}Ca_{0.15}MnO₃ as a MSW Waveguide.共著平成13年10月本津茂樹, 西川博昭, 仲森昌也, 酒谷知孝, et.al.

【紀要 (主なもの)】

- (1)「電子制御を活用した獣害防止システムの開発」近大高専紀要.14.(仲森、小原、東田、坂本、齊藤(公)).[2021.03]
- (2)「LoRa無線モデム計測システムのソーラーカーへの応用」近大高専紀要.13.(中西、仲森、荒賀).[2020.03]
- (3)「ソーラーカーのテレメトリーシステムの製作とそのデータ解析」近大高専紀要.10.(仲森、水尾、中西、岸、荒賀).[2017.03]
- (4)「ボランティアグループGood Jobの活動報告」近大高専紀要.9.(仲森、本田).[2016.03]
- (5)「電気二重層キャパシタのソーラーカーへの応用に関する研究」近大高専紀要.9.(中西、岸、仲森、荒賀).[2016.03]
- (6)「植物工場のための高出力LEDの有効活用」 近大高専紀要.8.(仲森、野上).[2015.03]
- (7)「ソーラーカーのためのシミュレーションモデルについて(3)」 近大高専紀要.8.(中西、岸、仲森、荒賀).[2015.03]
- (8)「セキュアブートを考慮したマルチOS環境の構築」 近大高専紀要.8.(中谷、政清、仲森、本田).[2015.03]
- (9)「ソーラーカーのためのシミュレーションモデルについて(2)」 近大高専紀要.7.(中西、岸、仲森、荒賀).[2014.03]
- (10)「ソーラーカーのためのシミュレーションモデルについて」 近大高専紀要.4.(中西、岸、仲森、荒賀).[2011.01]
- (11) 本校センタージャーナル「2001年9月新システム導入について(1)学内ネットワークシステムと情報処理教室(2)学生全員にノートパソコンの無償貸与制度(3)情報処理倫理教育と学生のメールシステム(4)教員の回覧版・施設予約システム」仲森 H13.12,pp.5-8
- (12) 本校センタージャーナル「学生用電子的提出板の低コスト化構築例」仲森 H17



なす けん

奈須 健

Ken NASU

職名
学位

講師
修士(国際公共政策)

学歴・
職歴等

大阪大学大学院国際公共政策研究科国際公共政策専攻
博士前期課程修了
大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻 博士後期
課程単位取得満期退学
近畿大学経営学部非常勤講師
神戸学院大学学際教育機構
非常勤講師

専門分野	国際政治学、国際公共政策学
主要担当授業科目	総合英語、英語演習、外国語文献講読
資格・受賞等	TOEIC 950点 日商珠算能力検定2級 日商簿記検定2級 第59回全国高等学校野球選抜甲子園大会出場(ベスト16)
社会・学会活動	日本中東学会 日本アメリカ史学会 大阪大学言語社会学会 全国高等専門学校英語教育学会
研究シーズ 研究テーマ	・中東和平構築のフレームワーク ・イスラエル・パレスチナ問題と国際社会の政治的力学 ・日本の対中東外交政策の決定政策過程と日米関係
共同研究・技術相談・開発等の実績	
E-Mail	nasu@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【主要著書・論文】

- (1) 杉田米行監修、佐藤晶子、山西敏博、竹林修一、奈須健『ボイス・オブ・アメリカ(VOA)ニュースで学ぶ英語 レベル2』大学教育出版、2017年。
- (2) 杉田米行編、大井由紀、藤村敬次、杉野俊子、山元里美、佐藤晶子、井村俊義、堤悦子、浅野一弘、島村直幸、奈須健「第10章 日本の対中東外国政策決定過程と日米関係～親アラブ協調外交路線におけるパラドックス」『第二次世界大戦の遺産 アメリカ合衆国』大学教育出版、2015年。
- (3) 平間洋一・杉田米行編、大津留(北川)智恵子、清水耕介、ジョンストン・エリック、杉田米行、武貞秀士、筒井洋一、ディフィリップ・アンソニー、平間洋一、宝珠山昇、水野光朗、リャン・ソニア、奈須健(資料・索引含)『北朝鮮をめぐる北東アジアの国際関係と日本』明石書店、2003年。

【翻訳】

- (1) 杉田米行編、リチャード・P. ホロウィッツ、アーサー・ホルスト、平体由美、上田伸治、アンドリュー・J. ワスキー、ジェームズ・R. ローズ、イタイスネー、ジェロム・クラセ、C. リチャード・キング、河内信幸、杉田米行、バーバラ・ブラウン・ジクムンド、ドナルド・H. パーカーソン、ジェフ・ウィリアムズ、パトリシア・タイラー、ケルヴィン・モンロー、奈須健(第1章翻訳及び資料編集)『アメリカ社会への多面的アプローチ』大学教育出版、2005年。

【口頭発表】

- (1) 奈須健『中東問題と日本のODA政策へのインプリケーション～戦略的外交の限界と課題～』東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所、2018年。
- (2) 奈須健『中東民主化とシーア派勢力台頭のメカニズム～1971年代以降のイランの事例を中心として～』東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所、2011年。
- (3) 奈須健『U.S. Foreign Policy in the Middle East ～Why did the Oslo Accords fail to create the desired peace?～』EX ORIENTE vol.18、2011年。
- (4) 奈須健『日本の対中東外交政策～第一次石油危機とその教訓～』日本アメリカ史学会・アメリカ史研究第32号、2009年。

【その他】

- (1) 奈須健『The Daily Yomiuriで学ぶ時事英語』チーム・エムツー、2007年。



はぎの なおと

萩野 直人

Naoto HAGINO

職名
学位

准教授
博士(工学)

[学歴]

神奈川工科大学大学院工学
研究科機械システム工学専攻
博士後期課程満期退学

学歴・
職歴等

[職歴]

神奈川工科大研究員
神奈川工科大学非常勤講師
東海大学非常勤講師

専門分野	熱流体工学, 熱工学, 塑性加工関連技術
主要担当授業科目	本科:工業熱力学Ⅰ, 工業熱力学Ⅱ, CADⅠ 専攻科:材料力学特論, マトリクス構造解析
資格・受賞等	International Conference on Innovative Technologies (IN-TECH 2015) AWARD for Science Technology Transfer 受賞
社会・学会活動	日本機械学会 日本塑性加工学会 日本ガスタービン学会 日本工学教育協会
研究シーズ 研究テーマ	熱・流体関係 1. 核沸騰促進に関する研究 2. 太陽熱利用自己循環型熱サイフオンの研究 3. 圧縮機に発生する非定常流動の抑制・制御に関する研究 塑性加工分野 1. 機械加工中のインプロセスモニタリング技術の開発
共同研究・技術相談・開発等の実績	(1) 立体多孔箔による核沸騰促進技術の応用に関する研究、(株)安永との共同研究, 2019年～ (2) 高速用爪チャックのコンパクト化及び機能・性能の向上, 東京大学との共同研究, 2019年～ (3) 薄板のプレス加工におけるインプロセスモニタリング, 神奈川工科大学との共同研究, 2019年～
E-Mail	hagino@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【主な論文】

- (1) Hagino, N., Komiya, S., Endou, J., Ishihama, M., In-process Monitoring during Stamping of Thin Plate: Propagation Characteristics of Ultrasonic Waves in Cylindrical Stamping Dies, Sensor and Materials, Vol.3,1No.10(2) (2019), pp.3129-3140.
 (2) 萩野 直人, 小宮 聖司, 遠藤 順一, 石濱 正男, FDTD法による金型内の超音波伝播の可視化—プレス加工中の金型内部における材料接触状態の可視化 第2報, 塑性と加工, Vol.58, No.681 (2017), pp. 929-935.
 (3) 萩野 直人, 小宮 聖司, 遠藤 順一, 石濱 正男, プレス加工における金型内の材料接触状態のインプロセスモニタリング, 塑性と加工, Vol.57, No.668 (2016), pp.981-989.
 (4) Hagino, N., Komiya, S., Endou, J., Ishihama, M., Ultrasonic Wave Propagation Analysis for In-process Monitoring of Stamping Key Engineering Materials, Vol. 82, (2016), pp. 528-535. DOI:10.4028/www.scientific.net/KEM.716.528.
 (5) 萩野 直人, 吉田 博夫, 今田 晴彦, 自己循環型熱サイフオンに関する研究(基本的特性について), 日本機械学会論文集, Vol. 82, No.837 (2016), DOI: 10.1299/transjsme.15-00596
 他9編

【解説・著書等】

- (1) 萩野 直人, FDTDによる金型内の超音波伝播の可視化; プレス加工中の金型内部における材料接触状態の可視化, 超音波テクノ, 2020.11-12, (2020), pp.12-19.

【口頭発表】

- (1) 萩野 直人, 小宮 聖司, 遠藤 順一, 石濱 正男, プレス加工における金型と製品の接触状態のインプロセスモニタリング; 製品材質による超音波伝播特性, 第71回塑性加工連合講演会, web講演, 第71回塑性加工連合講演会講演論文集 (2020), pp.311-312.
 (2) 萩野 直人, 自己循環型熱サイフオンの動的特性, 日本機械学会 東海支部第69期総会・講演会, 東海支部総会講演会講演論文集, (2020), 604.
 (3) 萩野 直人, 吉田 博夫, 自己循環型熱サイフオンの動的特性に関する研究, 日本機械学会2019年度年次大会, 秋田, 日本機械学会2019年度年次大会講演論文集, (2019), J05314.
 (4) 萩野 直人, 小宮 聖司, 遠藤 順一, 石濱 正男, プレス加工における金型と製品の接触状態のインプロセスモニタリング; 円弧金型と製品間の超音波伝播特性-, 2019年度塑性加工春季講演会, 京田辺市, 第38回塑性加工春季講演会講演論文集, (2019), pp.299-300.



はせがわ なおや

長谷川 尚哉

Noaya Hasegawa

職名
学位

准教授
修士

神奈川工科大学 大学院工学
研究科前期博士課程機械シス
テム工学専攻

学歴・
職歴等

ロボットアートテクノ株式会社
にてロボットの試作に従事。人
とロボットの共存・操作性の向
上などの製品開発に注力。

専門分野	計測工学、機械力学、制御工学、メカトロニクス、ロボット工学、ヒューマンインターフェース
主要担当授業科目	本科: 機械力学、計測工学、卒業研究、創造製作実習、メカトロニクス、工学実験4、コンピューター概論
資格・受賞等	第四級アマチュア無線技士 高等学校教諭専修免許状
社会・学会活動	日本機械学会
研究シーズ 研究テーマ	1. 機械力学応用、ヒューマンインタフェースの応用 ・焼却炉の洗浄・点検ロボットの開発 ・焼却炉のろ布洗浄ロボットの開発
共同研究・技術相 談・開発等の実績	1. 機械力学応用、ヒューマンインタフェースの応用 ・焼却炉の洗浄・点検ロボットの開発 ・焼却炉のろ布洗浄ロボットの開発 2020～ 株式会社川崎重工業との共同開発
E-Mail	hasegawa@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【著書】


1) N.Hasegawa, Y.Takahashi: Incorporation of human facial expression into robot control, Handbook of Research on Advanced Mecha-tronic Systems and Intelligent Robotics, IGI Global, (2019), Chapter 12, pp310-322

【論文】

- 1) Yoshihiko Takahashi, Naoya Hasegawa, Katsumi Takahashi, Takuro Hatakeyama: Human interface using PC display with head pointing device for eating assist robot and emotional evaluation by GSR sensor, Proceedings of IEEE International Conference on Robotics and Automation (IEEE-ICRA2001), (2001), pp.3674-3679
- 2) 高橋良彦、長谷川尚哉、高橋勝美、畠山卓朗: ヘッドスペースポインターを利用した食事支援ロボット用ヒューマンインターフェイスの評価実験とロボット動作に対する人間の心理反応, 日本設計工学会誌, Vol.37, No.3, (2002), pp. 122-128.
- 3) N.Hasegawa, Y.Takahashi: Preliminary research into control system using quantified human emotions, Proceedings of IEEE International Conference on Control, Automation and Systems (IEEE-ICCAS2017), (2017), pp.1519-1524
- 4) N.Hasegawa, Y.Takahashi: How Recognition of Human Facial Expression can be incorporated in Robot Control, Proceedings of IEEE International Conference on Research and Education in Mechatronics (IEEE-REM2019), (2019), 6 pages
- 5) N.Hasegawa, Y.Takahashi: Control of Soap Bubble Ejection Robot Using Facial Expressions, International Journal of Manufacturing, Materials, and Mechanical Engineering, IGI Global, (2021) vol.11, issue 2, article 1

【その他】

口頭発表6件(内、1件は英文で執筆、英語で発表)

 <p>はたやま のぶくに 畑山 伸訓 Nobukuni HATAYAMA</p> <p>職名 准教授 学位 修士(理学)</p> <p>学歴・職歴等 近畿大学 大学院化学研究科 化学専攻博士前期課程修了</p>	専門分野	物理学(理論)
	主要担当授業科目	本科: 物理、応用物理 専攻科: 物理学特論
	資格・受賞等	
	社会・学会活動	日本物理学会 アメリカ物理学会 日本高専学会
	研究シーズ 研究テーマ	1. 遍歴反強磁性体の量子臨界点近傍での磁氣的性質の理論 2. 反強磁性超伝導体に対するネール温度以下での磁氣的性質の理論
共同研究・技術相談・開発等の実績		
E-Mail	hatayama@ktc.ac.jp	

主な著書・論文・特許等

- (1) Nobukuni Hatayama, Rikio Konno, Yoshinori Takahashi, 'The behavior of the staggered magnetization in weak antiferromagnetic metals', JPS Conf. Proc. 1, 012102. (2014).
- (2) N. Hatayama, R. Konno, Y. Takahashi, 'Effect of dimensionality crossover on magnetovolume properties of quasi one-dimensional weakly antiferromagnetic metals', J. Phys.:Conf. Ser. 344 012015 (2012).
- (3) Nobukuni Hatayama and Rikio Konno, 'THERMAL EXPANSION OF FERROMAGNETIC SUPERCONDUCTORS: POSSIBLE APPLICATION TO UGe2', Int. J. Mod. Phys. B 24, 5192 (2010).
- (4) Nobukuni Hatayama and Rikio Konno, 'Thermal expansion of the coexistence of ferromagnetism and superconductivity', J. Phys: Conf. Ser. 200, 012056, 2010.



ばんどう まさみつ

坂東 将光

Masamitsu BANDO

職名 講師
学位 博士(理学)

大阪大学大学院 理学研究科
物理学専攻 博士前期課程修了

学歴・職歴等
近畿大学大学院 総合理工学
研究科 理学専攻 博士後期課程修了
近畿大学大学院 総合理工学
研究科 研究員

専門分野	量子情報処理
主要担当授業科目	情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ、通信工学、制御工学、工学実験5、卒業研究
資格・受賞等	Ruby Association Certified Ruby Programmer Silver
社会・学会活動	日本物理学会 会員 日本核磁気共鳴学会 会員 日本高専学会 理事
研究シーズ 研究テーマ	1. 量子情報処理を主なターゲットとしたソフトウェアの開発
共同研究・技術相談・開発等の実績	なし
E-Mail	bando@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) Masamitsu Bando, Tsubasa Ichikawa, Yasushi Kondo and Mikio Nakahara, "Composite Quantum Gates for Precise Quantum Control", Physics, Mathematics, and All that Quantum Jazz (Kinki University Series on Quantum Computing - Vol. 9), World Scientific, Singapore (May 2014).
- (2) Tsubasa Ichikawa, Jefferson G Filgueiras, Masamitsu Bando, Yasushi Kondo, Mikio Nakahara, Dieter Suter, "Construction of arbitrary robust one-qubit operations using planar geometry", Phys. Rev. A 90, 052330 (2014).
- (3) 坂東将光, 市川 翼, 近藤 康, 中原 幹夫, "頑強な量子ゲート ~複合量子ゲート~", 日本物理学会誌「最近の研究から」 68, 459 (2013).
- (4) Tsubasa Ichikawa, Utkan Güngördü, Masamitsu Bando, Yasushi Kondo, Mikio Nakahara, "Minimal and robust composite two-qubit gates with Ising-type interaction", Phys. Rev. A 87, 022323 (2013).
- (5) Masamitsu Bando, Tsubasa Ichikawa, Yasushi Kondo, Mikio Nakahara, "Concatenated composite pulses compensating simultaneous systematic errors", J. Phys. Soc. Jpn. 82, 014004 (2013).
- (6) Tsubasa Ichikawa, Masamitsu Bando, Yasushi Kondo, Mikio Nakahara, "Geometric aspects of composite pulses", Phil. Trans. R. Soc. A 370, 4671-4689 (2012).
- (7) Tsubasa Ichikawa, Masamitsu Bando, Yasushi Kondo, Mikio Nakahara, "Designing robust unitary gates: Application to concatenated composite pulses", Phys. Rev. A 84, 062311 (2011).
- (8) Yasushi Kondo and Masamitsu Bando, "Geometric Quantum Gates, Composite Pulses, and Trotter-Suzuki Formulas", J. Phys. Soc. Jpn. 80, 054002 (2011).
- (9) Masamitsu Bando, Yukihiko Ota, Yasushi Kondo and Mikio Nakahara, "Holonomic Quantum Gates using Isospectral Deformations of Ising Model", Decoherence Suppression in Quantum Systems 2008 (Kinki University Series on Quantum Computing - Vol. 3), World Scientific, Singapore (Jan. 2010).
- (10) Yukihiko Ota, Masamitsu Bando, Yasushi Kondo and Mikio Nakahara, "Implementation of holonomic quantum gates by an isospectral deformation of an Ising dimer chain", Phys. Rev. A 78, 052315 (2008).



ふなしま ひろき

船島 洋紀

Hiroki Funashima

職名 准教授
学位 博士(理学)

学歴・
職歴等

大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻博士課程前期修了
大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻博士課程後期修了
東京理科大学理工学部物理学科助教
大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻特任研究員
神戸大学大学院理学研究科物理学専攻特命講師
九州大学理学研究院物理部門特任助教

専門分野	物性理論(空間群・バンド理論)、数値情報理論
主要担当授業科目	数値計算法(a, b)、メディア情報処理、知的情報処理、電気電子工学演習、工学実験5、卒業研究、特別研究I
資格・受賞等	Paper of Editor's choice, Journal of Physical Society of Japan(2018) Paper of Editor's choice, Project Management Conference (2018) Best Paper Award, ICPM(International Conference on Production Management)(2017) Best Presentation Award, International Conference on Thermoelectrics(2015)
社会・学会活動	American Physical Society 会員 Material Research Society 会員 日本物理学会 会員 日本熱電学会 会員 コンピューターショナル・マテリアル・デザイン(CMD)ワークショップ講師(2011年～)
研究シーズ 研究テーマ	1. 第一原理電子状態計算による高機能性材料のマテリアルデザイン 2. 空間群を応用した第一原理結晶構造探索システムの開発 3. 3d遷移メタ磁性体における磁気特性および電子状態 4. 強相関電子系における電子状態とその解析 5. 数値モデルに基づいたR&Dマネジメントの定量的解析 6. 機械学習に基づいた数値情報システムの開発
共同研究・技術相談・開発等の実績	1. 第一原理計算に基づいた高効率熱電材料のマテリアルデザイン 2. 第一原理計算に基づいた太陽電池の電子状態計算と性能評価 3. NEDOプロジェクトの効果測定およびマネジメントに関する研究(NEDO公募研究)
E-Mail	funashima@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【過去3年以内】

<学術論文(全て査読有)・雑誌>

- (1)Masaaki Geshi and Hiroki Funashima, "First Principle Study for High-Pressure Terullium near the transition from bcc to fcc", Journal of Physical Society of Japan, **89**, 124603(2020)
- (2)Hiroki Funashima, Yoshio Kuramoto, Hisatomo Harima, "Electronic Structure and p-f Hybridization Toward Orbital Kondo Effect", Journal of Physical Society of Japan **89**, 044712 2020)
- (3)木村憲彰・船島洋紀・落合明・播磨尚朝, 空間反転対称性の破れによって分裂したフェルミ面の軌道交差, 固体物理第54巻第7号pp.31-35
- (4)Hideki Hayashida, Masakazu Takahashi and Hiroki Funashima, "Novel Validation Method for the R&D Project Status Visualization", Journal of Procedia Computer Science, 159, pp 1295-1296(2019)
- (5) Yosuke Fujii, Hiroki Funashima, Hiroshi Katayama-Yoshida, Ikuya Yamda and Atsuko Kosuga, "Yosuke Fujii, Hiroki Funashima, Hiroshi Katayama-Yoshida, Ikuya Yamda and Atsuko Kosuga", Journal of Applied of Physics, 125 p035105(2019)
- (6)Akira Yamazaki, Hideki Hayashida, Hiroki Funashima, Masakazu Takahashi and Takao Nomakuchi, "Improvement of Management Based on an Analysis of the Results of R&D Supported by Public Funds", Proceedings of 12th International Conference on Project Management pp.24~28(2019)
- (7)Takao Nomakuchi, Hiroki Funashima, Akira Yamazaki, Hideki Hayashida, and Masakazu Takahashi, "A Network Analysis on Consortium Type Research and Development Project", Proceedings of 12th International Conference on Project Management pp.52~55(2019)
- (8)Noriaki Kimura, Hiroki Sano, Makoto Shirakawa, Akira Ochiai, Hiroki Funashima, and Hisatomo Harima, "Orbital Crossing on Split Fermi Surfaces in Noncentrosymmetric Yb4Sb3", Journal of the Physical Society of Japan **87**, 114708(2018)

【全業績】

学術論文(全て査読有) 22編 国際学会発表25回 国内学会発表20回



ほんだ やすこ

本田 康子

Yasuko Honda

准教授・博士(理学)

職名
学位

学歴・
職歴等

神戸大学大学院自然科学研究科環境科学専攻博士課程
修了 関西学院大学博士
研究員 神戸国際大学
非常勤講師

専門分野	宇宙線物理学
主要担当授業科目	電気回路・言語理論とオートマトン
資格・受賞等	中学校専修教員免許(理科)・高等学校専修教員免許(理科)
社会・学会活動	三重県技能者表彰審査委員
研究シーズ 研究テーマ	高エネルギー粒子の加速機構
共同研究・技術相談・開発等の実績	宇宙線ステーションを用いた高エネルギー宇宙線の探索(大阪市立大学)
E-Mail	honda@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) Yasuko S. Honda, Mitsuru Honda, 'Additional acceleration of protons and energetic neutrino production in a filamentary jet of the blazar Markarian 501' Publications of the Astronomical Society of Japan, (2011) Vol. 62, pp.735-742
- (2) Mitsuru Honda, Yasuko S. Honda, 'Transitive X-ray spectrum and PeV Gamma ray cutoff in the M87 jet: Electron "Pevatron"' Astrophysical Journal, (2007) Vol.654, 885-896
- (3) Mitsuru Honda, Yasuko S. Honda, 'Particle Diffusion and Acceleration by Shock Wave in Magnetised Filamentary Turbulence' Astrophysical Journal, (2006) Vol.633, 733-747
- (4) Yasuko S. Honda, Mitsuru Honda, 'Effects of mirror reflection versus diffusion anisotropy on particle acceleration in oblique shocks' Monthly Notices of Royal Astronomical Society, (2005) Vol. 362, 833-837
- (5) Mitsuru Honda, Yasuko S. Honda, 'Filamentary jets as a cosmic ray "Zevatron"', Astrophysical Journal, (2004) Vol. 617, L37-L40
- (6) Yasuko S. Honda, Mitsuru Honda, 'Proton acceleration beyond 100 EeV by an oblique shock wave in the jet of 3C 273' Astrophysical Journal, (2004) Vol. 613, L25-L28
- (7) Mitsuru Honda, Yasuko S. Honda, 'On exact polytropic equilibrium of self gravitating gaseous and radiate systems: their application to molecular cloud condensation' Monthly Notices of Royal Astronomical Society, (2003) Vol. 341, pp.164~168
- (8) Keizo Kobayakawa, Y. S. Honda, T. Samura, 'Acceleration by oblique shocks at supernova remnants and cosmic ray spectra around the knee region', Physical Review D (2002) Vol. 66, pp.083004-1~083004-11
- (9) Mitsuru Honda, Yasuko S. Honda, 'Self Collimation and Magnetic Field Generation of Astrophysical Jets', Astrophysical Journal, (2002) Vol.569, pp. L.39-L42
- (10) Keizo Kobayakawa, Y. S. Honda, S. Tanaka, 'Moduli effects on neutrino oscillations', Physical Review D, (1996) Vol. 54, pp.1204~1211



まさきよ ふみあき

政清 史晃

Fumiaki MASAKIYO

職名
学位

教授
修士(工学)

学歴・
職歴等

[学歴]

徳島大学大学院工学研究科
知能情報工学専攻博士(前
期)課程修了、先端技術科学
教育部システム創生工学専攻博
士(後期)課程単位取得退学

[職歴]

株式会社きんでん 情報通信エ
ンジニアリング本部

専門分野	画像・信号処理、情報通信、メカトロニクス
主要担当授業科目	本科:メカトロニクス概論、基礎ロボット論、専攻科:イ ンターンシップ、電気電子工学実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ
資格・受賞等	技術士(電気電子部門)、1級電気工事施工管理技士、第 1種電気工事士、電気主任技術者第3種、消防設備士、工 事担任者、高等教諭免許状[工業](1級、専修)、職業 訓練指導員(情報処理、コンピュータ制御)、電気学会・電 子情報通信学会・情報処理学会奨励賞
社会・学会活動	電子情報通信学会正員、日本高専学会査読委員、プ ログラミング出前授業、夏見廃寺復元プロジェクト
研究シーズ 研究テーマ	1. メカトロニクス、AI、AR/VR、テレイグジスタンス 2. ネットワーク・サーバ管理 3. 技術者教育、プログラミング教育
共同研究・技術相 談・開発等の実績	1. 画像処理による対象物同定定 2. 遠隔臨場感システム 3. 夏見廃寺復元プロジェクト
E-Mail	masakiyo@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1)「Detection algorithm of abdominal lymph nodes based on multi-modality image」MASAKIYO, KUBO,KAWATA,NIKI,NISHIKAWA,MIYAMOTO,Yoshikawa,SHIMADA,NISHITANI:22nd SICE Symposium on Biological and Physiological Engineering OS15 Computer Aided Diagnosis (CAD)(Harbin).2008
- (2)「マルチモダリティ画像を用いた腹部リンパ節の特定アルゴリズム」政清、久保、河田、仁木、西岡、宮本、島田、西谷:電子情報通信学会,信学技報IEICE Technical Report MI2007-57(2007-11)pp.43-48
- (3)「CT画像を用いた腹部センチネルリンパ節の自動抽出に関する研究」政清、久保、河田、仁木、西岡、宮本、島田、西谷:Asian Medical Imaging Forum ,2007電子情報通信学会信学技報IEICE Technical Report MI2006-175(2007-1) pp.69-72,2007年
- (4)「MRI情報を用いた64チャンネルSQUIDの脳磁界解析システム」政清、三野、仁木、西谷、田村:医用画像工学研究会JAMIT Frontier'94,1994年
- (5)“A neuromagnetic source localization using 64 channel SQUID system and MRI”,1993 IEEE Conference Record Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference 1993年11月
- (6)“Neuromagnetic Source Localization with a 64-Channel Superconducting Quantum Interference Device System and MR Imaging” F.Masakiyo,K.Mino,N.Niki,H.Nishitani,I.Tamura,Radiological Society of North America(RSNA),79th scientific assembly and annual meeting,Nov.28-Dec.3,1993(Chicago),237,1993.11
- (7)“A magnetoencephalographic mapping using 64 channel SQUID system and MRI”,Acoustics, Speech, and Signal Processing, IEEE International Conference on (1993),678-681,1993
- (8)「マルチチャンネルSQUIDとMRIによるMEGマッピング法」,林田 知子, 政清 史晃, 仁木 登, 西谷 弘, 田村 逸朗,テレビジョン学会誌 46(12),16(55),59-65,1992.12
- (9)「MRI情報を用いた64チャンネルSQUIDの脳磁界解析」政清、仁木、西谷、田村:医用画像工学研究会JAMIT Annual Meeting'93,1993年
- (10)「多チャンネルSQUIDとMRIによるMEG解析」政清、林田、仁木、西谷、田村:第15回日本ME学会中国四国支部大会,1992年



まつお だいすけ

松尾 大介

Daisuke Matsuo

職名
学位

准教授
学士

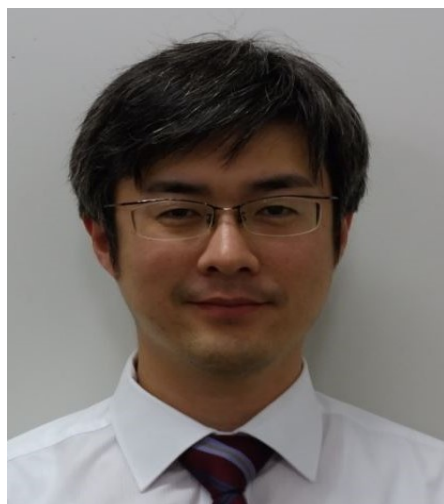
学歴・
職歴等

法政大学卒業

専門分野	社会科
主要担当授業科目	日本史
資格・受賞等	日本体育協会 公認コーチ 認定 日本陸上競技連盟 優秀指導者章
社会・学会活動	三重県陸上競技協会 強化委員 日本陸上競技連盟 U20オリンピック強化育成部コー チ
研究シーズ 研究テーマ	跳躍競技のコーチング
共同研究・技術相 談・開発等の実績	
E-Mail	matuo@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) 2021年～ 「月刊陸上競技」講談社 トレーニング講座(三段跳)隔月連載
- (2) 2020年7月 「高校陸上 基本&実践トレーニング」(公財)全国高体連陸上競技専門部
- (3) 2018年4月 「陸上競技マガジン」ベースボールマガジン社 「選手の主観と指導者の観察、客観的データからパフォーマンスを振り返る」事例報告
- (4) 2018年3月 「Training Journal」ブックハウスHD 「パフォーマンス向上のトレーニング測定合宿の事例」投稿
- (5) 2014年3月 「走幅跳の戦術について」、近畿大学工業高等専門学校紀要Voi.7
- (6) 2010年～2014年 「陸上競技マガジン」ベースボールマガジン社 3分クリニック(走幅跳)連載
- (7) 2009年 「月刊陸上競技」講談社 トレーニング講座(走高跳)隔月連載



み さ き ま さ ひ ろ

三崎 雅裕

Masahiro Misaki

職名 准教授
学位 博士(工学)

神戸大学大学院自然科学研
究科博士後期課程分子集合
科学専攻 修了

学歴・ 産業技術総合研究所 光技術
職歴等 研究部門 特別研究員

神戸大学自然科学系先端融
合研究環 助教

専門分野	半導体工学
主要担当授業科目	本科:工学実験, 卒業研究 専攻科:半導体デバイス工学, 半導体シュミレーション, 電子物性特論, エネルギー変換論, 工学実験, 特別研究
資格・受賞等	日本MRS学術シンポジウム奨励賞 応用物理学会講演奨励賞
社会・学会活動	応用物理学会 有機EL討論会 近畿化学協会
研究シーズ 研究テーマ	1. 有機薄膜デバイス ・偏光発光する有機EL素子 ・異方性を有する有機薄膜トランジスタ ・フレキシブル有機薄膜太陽電池 2. 構造制御と物性評価 ・分子配向制御 ・斜入射X線回折 ・放射光を利用した薄膜構造解析 3. プリンテッドエレクトロニクス
共同研究・技術相 談・開発等の実績	1. 若手研究A(科研費)「光異性化分子による有機ナノ結晶の配向制御と有機薄膜太陽電池への応用」の研究 2. 挑戦的萌芽研究(科研費)「高分子ELの多層化と塗り分け技術の創成」他8件
E-Mail	misaki@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

- (1) プリンテッド・エレクトロニクスに向けた材料、作製プロセス技術の開発、技術情報協会、分担執筆(第6章第8節)
 - (2) 白色有機EL照明技術、シーエムシー出版、監修 三上明義、分担執筆(pp.135-141)
 - (3) Misaki M, Toba A, Goto D, Adachi C, Koshihara Y, Ishida K, Ueda Y, "Laser-Induced Micro-Patterning of Organic Semiconductor Layers for Use in Organic Light-Emitting Diode Displays", ITE Transactions on Media Technology and Applications (MTA), vol.3, pp.143-148, 2015.4.
 - (4) Horike S, Koshihara Y, Misaki M, Ishida K, "Crystal Growth of Rubrene in Ionic Liquids by Vacuum Vapor Deposition", Japanese Journal of Applied Physics, vol.53, pp.05FT03-1-4, 2014.4.
 - (5) Saeki H, Misaki M, Kuzuhara D, Yamada H, Ueda Y, "Fabrication of Phase-Separated Benzoporphyrene/[6,6]-Phenyl-C61-Butyric Acid Methyl Ester Films for Use in Organic Photovoltaic Cells", Japanese Journal of Applied Physics, vol.52, pp. 111601-1-5, 2013.10.
 - (6) Hosokawa Y, Misaki M, Ishida K, Ueda Y, "Molecular Orientation and Anisotropic Carrier Mobility in Poorly Soluble Polythiophene Thin Films", Applied Physics Letters, vol.100, pp.203305(1-4), 2012.5.
 - (7) Koshihara Y, Yamamoto M, Kinashi K, Misaki M, Ishida K, Ueda Y, "Fabrication and Optical Properties of Photochromic Compound", Thin Solid Films, vol.518, pp.805-809, 2009.11.
 - (8) Misaki M, Chikamatsu M, Yoshida Y, Azumi R, Ueda Y, Yase K, "Highly Efficient Polarized Polymer Light Emitting Diodes Utilizing Oriented Films of b-Phase Poly(9,9-dioctylfluorene)", Applied Physics Letters, vol.93, pp.023304(1-3), 2008.7.
 - (9) Misaki M, Nagamatsu S, Chikamatsu M, Yoshida Y, Ueda Y, Yase K, "Single-Crystal-like Structure of Poly(9,9-dioctylfluorene) Thin Films Evaluated by Synchrotron-Sourced Grazing-Incidence X-Ray Diffraction", Polymer Journal, vol.39, pp.1306-1311, 2007.12.
 - (10) Misaki M, Ueda Y, Nagamatsu S, Chikamatsu M, Yoshida Y, Ueda Y, Yase K, "Highly Polarized Polymer Light-Emitting Diodes Utilizing Friction-Transferred Poly(9,9-dioctylfluorene) Thin Films", Applied Physics Letters, vol.87, pp.243503(1-3), 2005.11.
 - (11) Misaki M, Ueda Y, Nagamatsu S, Chikamatsu M, Yoshida Y, Ueda Y, Yase K, "Polymer-Supported Anisotropic Submicrometer-Patterned Electrodes for Displays", Advanced Materials, vol.17, pp.297-301, 2005.2.
 - (12) Misaki M, Ueda Y, Nagamatsu S, Chikamatsu M, Yoshida Y, Ueda Y, Yase K, "Formation of Single-Crystal-Like Poly(9,9-dioctylfluorene) Thin Film by Friction-Transfer Technique with Subsequent Thermal Treatments", Macromolecules, vol.37, pp.6926-6931, 2004.9.
- 他 約50件



むらた けいじ

村田 圭治

Keiji MURATA

職名
学位

教授
博士(工学)

東京工業大学大学院総合理
工学研究科エネルギー科学専
攻修士課程修了

学歴・
職歴等

株式会社東芝
研究開発センター・機械エネ
ルギー研究所 主任研究員
電力産業システム技術開発
センター 主査

近畿大学工業高等専門学校
総合システム工学科機械シ
ステムコース 教授・校長
現在に至る

専門分野

熱工学, 伝熱工学, エネルギー工学

主要担当授業科目

資格・受賞等

・高圧ガス製造責任者免状(乙種機械)
・衛生管理者

社会・学会活動

日本機械学会, 日本伝熱学会

研究シーズ
研究テーマ

研究シーズ: 熱流体工学分野における基礎研究

これまでの研究テーマ例:

1. HCFC123の細管内強制対流沸騰
2. 鉄粉酸化反応層の温度制御に関する研究
3. 三次元微細突起を用いた熱伝達促進面の性能評価
4. 抵抗低減減流
5. 水エマルジョン燃料による燃焼特性改善効果の検証

共同研究・技術相
談・開発等の実績

1. 平成17年度熊野市産官学共同研究事業
2. 平成16年度 三重県医療・健康・福祉産業産学官共同研究補助事業
3. 平成16年度 三重県科学技術振興センター研究調整事業, 「三重県内で利用可能なバイオマスエネルギーシステム、及び熱化学的エネルギー変換技術に関する調査」
4. 平成15年度 三重県医療・健康・福祉産業産学官共同研究補助事業

他4件

E-Mail

murata@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等(最近の国際会議講演発表を含む)

- (1) 村田, 荒賀, 小松, 鉄粉酸化反応層の熱特性に関する研究, 日本機械学会論文集, Vol.82, No.844, 2016.
- (2) Murata,K., Araga,K., EtohT. and Takehara, K., Visualization of Nucleate Boiling of Refrigerant HCFC123 in a Mini-Tube, Proceedings of the 15th International Conference on Experimental Mechanics, Porto, Portugal, 22-27 July 2012.
- (3) 村田, 荒賀, 江藤, 竹原, 冷媒HCFC123の細管内強制対流沸騰の可視化-核沸騰開始点近傍における二相流動様式の形成-, 日本実験力学会誌, Vol.12, No.2, pp.107-113, 2011.
- (4) Araga,K., Okamoto,K. and Murata,K., Forced Convective Boiling of Refrigerant HCFC123 in a Mini-Tube, Proceedings of the International Heat Transfer Conference, August 8-13, 2010, Washington, DC, USA..
- (5) 村田, 冷媒の管内強制対流沸騰熱伝達, 日本実験力学会誌, Vol.9, No.4, pp.307~317, 2009.
- (6) 村田, 岡本, 荒賀, 冷媒HCFC123の細管内強制対流沸騰, 日本実験力学会誌, Vol.9, No.4, pp.351~356, 2009.
- (7) 荒賀, 糸川, 中溝, 村田, 抵抗低減界面活性剤水溶液流れに及ぼす空気混入の影響, 日本実験力学会誌, Vol.9, No.4, pp.357~362, 2009.
- (8) Murata,K., Nakahata,H., Araga,K. and Komatsu,Y., Thermal characteristics in a layer of corroding iron powder, Proceedings of 7th World Conference on Experimental Heat Transfer, Fluid Mechanics and Thermodynamics, pp.1231~1238. 2009.
- (9) Koichi ARAGA and Keiji MURATA, Pressure Loss, Heat Transfer Coefficient and Flow Pattern in Drag-Reducing Two-Phase Flow of Air and Surfactant Solution Inside a Vertical Tube, Proceedings of The Second International Symposium on advanced fluid/solid science technology in experimental mechanics, 2007, 12.
- (10) 村田, 荒賀, 空気混入による界面活性剤水溶液流れの熱伝達促進, 日本機械学会論文集B, Vol.72-717B, pp.1303-1309, 2006.
- (11) Murata,K. and Araga,K., Heat Transfer Characteristics in Two-Phase Flow of Air And Surfactant Solution, Proc. 13th Int. Heat Transfer Conf., Sydney, 2006.
- (12) Nakagaki,T., Ogawa,T., Murata,K. and Nakata,Y., Development of methanol steam reformer for chemical recuperation, ASME Journal of Engineering for Gas Turbines and Power, Vol.123, pp.727-733, 2001.
- (13) 山下, 村田, 中田, 吉田, 吉川, 溶融炭酸塩膜を用いた高温ガス精製方式の開発, 化学工学論文集, 第26巻, 第2号, pp.165-168, 2000.



やすいのぶひと

安井 宣仁

Nobuhito YASUI

職名 准教授
学位 博士(工学)

[学歴]
立命館大学総合理工学専攻
攻博士後期課程 学位取得

学歴・職歴等 [職歴]
立命館大学総合理工学研究
機構 ポスドク研究員
国立研究開発法人土木研究
所 先端材料資源研究セン
ター 研究員

専門分野	環境衛生工学 / 水環境工学
主要担当授業科目	水理学、水理学演習、衛生工学、 土木計画学、河川環境工学
資格・受賞等	第53回環境工学研究フォーラム論文奨励賞受賞 第52回下水道研究発表会 口頭発表セッション優秀賞 第51回下水道研究発表会 口頭発表セッション 最優秀賞 平成26年度 奨励賞 公益社団法人日本下水道協会 多賀工業会賞 受賞
社会・学会活動	日本水環境学会 水中の健康関連微生物委員会 日本水環境学会 紫外線を利用した水処理技術研究 委員会 土木学会 日本下水道協会
研究シーズ 研究テーマ	1. 新規紫外線光源(UV-LED)を用いた不活化技術の 開発 2. 抗生物質耐性大腸菌の不活化技術の開発 3. 下水再生水利用時における定量的微生物リスク 評価
共同研究・技術相 談・開発等の実績	【共同研究】 21世紀型都市水循環系の構築のための水再生技術 の開発と評価(科学技術振興機構 戦略的創造研究 推進事業)(2010年~2015年) 【技術相談】 水処理技術の開発・評価等
E-Mail	nyasui@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【原著論文】

- (1) 安井宣仁, 諏訪守, 南山瑞彦, 植松龍二: 低圧および中圧紫外線ランプ照射による抗生物質耐性大腸菌の不活化と光回復の評価, 環境工学研究論文集 第53巻, Vol. 72 (2016) No. 7 p. III_207-III_216.
- (2) Yasui N., Suwa M., Sakurai K., Suzuki, Tsumori J., Kobayashi K., Takabatake H., Lee S.T., Yamashita N., Tanaka H., Removal characteristics and fluctuation of Norovirus in a pilot-plant by an ultrafiltration membrane for the reclamation of treated sewage, Environmental Technology (IF=1.56), Epub ahead of print (DOI: 10.1080/09593330.2016.1164760), 2016
- (3) 安井宣仁, 諏訪守, 桜井健介, 鈴木穰, 小林憲太郎, 高島寛生: 農業利用を想定したUF膜処理による下水再生水の定量的微生物リスク評価: ノロウイルスを対象とした事例的研究, 土木学会論文集G (環境), 69(7), III_647-III_656, 2013
- (4) 諏訪守, 安井宣仁, 鈴木穰, 岡本誠一郎, 桜井健介, 津波被災下水処理場の段階的復旧対策技術による水質改善効果, 下水道協会誌, 50 (614), pp.111-120, 2013
- (5) 岡本誠一郎, 諏訪守, 安井宣仁, 桜井健介, 新井百合子, 東日本震災による下水道災害と公衆衛生面への影響, 環境衛生工学研究, 26(1), pp.3-9, 2012
- (6) Aoyagi Y., Takeuchi M., Yoshida K., Kurouchi M., Yasui N., Kamiko N., Araki T., Nanishi Y., Inactivation of Bacterial Viruses in Water Using Deep Ultraviolet Semiconductor Light-Emitting Diode, Journal of Environmental Engineering (IF=1.267), volume 137, Issue 12, pp.1215-1218, 2011

【国際会議プロシーディングス】

- (1) Yasui N., Sakurai K., Okamoto S., Suwa M., Inactivation evaluation method for norovirus by chlorine disinfection of sewage treatment, The 16th International Symposium on Health-Related Water Microbiology, Rotorua, New Zealand, 2011
- (2) Yasui N., Sakurai K., Okamoto S., Suwa M., Improvement of the norovirus detection limit by pretreatment performed by adding microorganisms to a sample with low virus concentration, 4th IWA-Aspire Conference & Exhibition, Tokyo, Japan, 2011. (USB memory : full paper:17-6-5)
- (3) Yasui N., Kamiko N., Yoshikawa N., Investigation on the synergistic effect of AOP in the treatment of UV, O3 and H2O2, Singapore International Water Week 2010, Special session: 1 Day UV, Ozone & AOP Conference, Singapore, 2010. CD-ROM

	専門分野	計測工学、制御工学、レーザー加工
	主要担当授業科目	本科: 制御工学, 機械工学概論 工学実験3年、4年(ロボットに関する基礎実験)
	資格・受賞等	高校教諭(数学、工業)
	社会・学会活動	
<p>やまかわ まさふみ</p> <p>山川 昌文</p> <p>Masafumi Yamakawa</p> <p>職名 教授 学位 博士(工学)</p> <p>名古屋大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士課程後期課程修了</p> <p>(株)横河・ヒューレット・パッカード</p>	研究シーズ 研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体レーザーによる溶着・融着・接合に関する研究 ・レーザー接合における自動化に関する研究 ・光弾性実験装置の自動化に関する研究
学歴・職歴等	共同研究・技術相談・開発等の実績	
	E-Mail	yamak@ktc.ac.jp

主な著書・論文・特許等

1. Analysis of Thermal Stress in Laser Lap Welding of Thermoplastics
Masafumi YAMAKAWA, Shinya HAYAKAWA, Takashi NAKAMURA, Tatsuya HASEGAWA
International Symposium on EcoTopia Science 2007 (ISETS'07), Nov. 2007, CD-ROM
2. 透明熱可塑性樹脂のレーザー溶着法の研究
山川昌文, 早川伸哉, 中村隆, 長谷川達也
日本機械学会論文集C編, 74巻, 744号(2008-8), pp. 2079-2083.
3. 熱可塑性樹脂のレーザー溶着における残留応力と溶着強度の関係
山川昌文, 早川伸哉, 中村隆, 長谷川達也
日本機械学会論文集C編, 74巻, 748号(2008-12), pp. 3036-3041.
4. 熱可塑性樹脂のレーザー溶着における温度と光弾性縞の同時観察
山川昌文, 早川伸哉, 中村隆, 長谷川達也
日本機械学会論文集C編, 75巻, 750号(2009-2), pp. 491-495.
5. Stress Analysis of Photoelastic Model Fabricated by Stereolithography
Yuusuke MORI, Masafumi YAMAKAWA, Toshiki KIHARA
The Japanese Society for Experimental Mechanics, Vol.11, No.2(2011-6), pp.132-136

【2019年度講演】

2019年7月、「レーザー樹脂溶着における残留応力の解析と溶着強度への影響」、技術情報協会
2020年1月、「レーザー樹脂溶着における残留応力の解析と溶着強度への影響」、車載テクノロジー Vol.7 No.4 2020、技術情報協会



よしかわ たかし

吉川 隆

Takashi Yoshikawa

職名 教授
学位 博士(工学)

学歴・職歴等
東京理科大学 理工学部
物理学科卒
沖電気工業株式会社
研究開発本部

専門分野	エネルギー変換工学
主要担当授業科目	本科: パワーエレクトロニクス, 工学実験 専攻科: 特別研究
資格・受賞等	論文賞(海洋音響学会) 中学・高校教諭 Best Poster Award (ICISIP2017)
社会・学会活動	電子情報通信学会 電気学会 応用物理学会 IEEE
研究シーズ 研究テーマ	1. 水中音響技術 ・超磁歪材料を用いた低周波音源 ・海洋音響トモグラフィ 2. 光ファイバセンサ 3. エネルギーハーベスティング ・ワイヤレスパワー伝送 ・HEMS(Home Energy Management System)への適用
共同研究・技術相談・開発等の実績	1. NEDO委託研究 「ハーベスティングHEMS」の研究
E-Mail	yoshikawa@kct.ac.jp

主な著書・論文・特許等

【著書・論文】

- (1) Takashi Yoshikawa, "The Efficiency Estimation Method for Harvesting Energy Charged into Capacitor", International Conference on DC Microgrids ICDCM 2019 (Matsue), IEEE Xplore, pp.511-514, 2019.
- (2) Takashi Yoshikawa, Yuuki Kamuro, "A Simple Interpretation for the Repeating WPT Characteristics", IEICE Technical Committee on Microwaves On line Journal (Proceedings of TJMW), No.TH2-02, 2019.
- (3) Takashi Yoshikawa, Yuuki Kamuro, "Feasibility Study of Wireless Power Transfer Characteristics between Resonate Coils at both Specified Scope End", (Grand International Conference & Exposition Asia Conference (Bangkok)), IEEE Xplore (Printing), 2019.
- (4) Takashi Yoshikawa, Yuuki Kamuro, "Next Approach of HEMS WPT", (Progress In Electromagnetics Research Symposium Abstracts, Toyama, PIERS), IEEE Xplore, 765-769, 2018.
- (5) Takashi Yoshikawa "Novel Concept "HEMS E Project" Challenge", ATLANTIS PRESS, Advances in Intelligent Systems Research (AISR), Vol.145, PP.233-237, 2017.
- (6) Takashi Yoshikawa, "The Method of the Energy Harvesting HEMS Router." Proceedings of the 5th ICISIP2017 (IAE International Conference on Intelligent Systems and Image Processing 2017) (Hawaii), pp.31-35, 2017.
- (7) Takashi Yoshikawa, "THE DEVELOPMENT OF THE CANTILEVER TYPED VIBRATION POWER GENERATION FLOOR", Journal of Physics: Conference Series (Power MEMS 2017), Vol. 1052, pp554-555, 2017.
- (8) Takashi Yoshikawa, Arata Sakai, "The Study for WPT Using Silver Nano Particle", PIERS Proceedings(Shanghai, China), IEEE Xplore, pp.4419 - 4422, 2016.11.
- (9) Takashi Yoshikawa, "HEMS with Energy Harvesting and Wireless Power Transmission", ICEE(International Conference on Electrical Engineering Proceedings, Okinawa, , 2016.7.
- (10) Takashi Yoshikawa, "Many Kinds of Energy Source in Our Surroundings at Home", Springer Proceedings in Energy on ENEFM 2014, PP.307-312, 2015.
- (11) Takashi Yoshikawa, "HEMS with Wireless Power Transmission and Energy Harvesting", PIERS Draft Proceedings, Stockholm, Sweden, PP1507-1512, 2013.8.
- (12) Takashi Yoshikawa, "HEMS performed by a sensor network having an effectively wireless power supply", IEEE ICMM2012 (International Conference on Microwave Magnetics), Frankfurt (German), P44, Abstracts p.121, 2012.8.
- (13) Takashi Yoshikawa, Ikuo Awai, "A Novel Design for HEMS consisting of Sensor Network Nodes with Energy Harvesting and Wireless Power Transmission", AIGM2012.
- (14) Takashi Yoshikawa, Shota Saraya, "HEMS Assisted by a Sensor Network Having an Efficient Wireless Power Supply", IEEE Trans. on Magnetics, 2012.
- (15) Takashi Yoshikawa, "Novel Concept for HEMS Apparatus", Elsevier Science Direct 2012 Energy Procedia 14, (他114件)

【特許】

特許出願 10件